

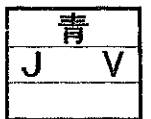
モンゴル・中国協力隊員巡回指導調査団報告書

JICA LIBRARY



1208338 [2]

調査期間：平成11年11月21日～12月2日



CA
5
5
5
LIBRARY

目 次

1	本件調査団の派遣について	3
2	調査結果概要（モンゴル）	4
3	対処方針に沿った調査結果（モンゴル）	4
4	各隊員の活動状況（モンゴル）	9
5	中国における調査結果	13
6	写真	15

別添資料：対処方針

調査日程表

米国ピースコー配置図（モンゴル）

モンゴル病院情報

隊員配置図（モンゴル・中国）



1208338 [2]

1 本件調査団の派遣について

1-1 調査背景および目的

モンゴルは 1992 年に派遣が開始されて以来、計 82 名の隊員が派遣されており、現在は大学、中等教育機関を中心に 36 名が派遣されている。

当国において、隊員活動は概ね評価されており、今後地方都市への派遣拡大も期待されているが、他方で生活環境が厳しく、特に冬季の生活には相当の苦勞が伴う。

かかる経緯のもと、本調査においては、隊員活動の現状、他国ボランティアの活動状況、未派遣地域の現状を調査し、今後の派遣計画策定に資することを目的とした。

また、中国については、現在 72 名の隊員が派遣されているが、日本語教師を中心とする教育文化分野と保健衛生分野が主な派遣分野となっている。

今回、河北省に派遣されている日本語教師隊員および医療隊員の活動状況を調査し、派遣計画策定に資することを目的とした。

1-2 団員構成

- 1 団員 西村 愛志 (青年海外協力隊 派遣第 2 課職員)

1-3 対処方針 (別添のとおり)

1-4 調査日程 (詳細日程は別添のとおり)

モンゴル：11 月 21 日～11 月 30 日

中 国：11 月 30 日～12 月 2 日

1-5 主要面談者

モンゴル

文部省

Mr. N. Urtnasan Head, External Cooperation Division, Ministry of Science, Technology, Education and Culture

対外関係省

Mr. N. Bataa Officer, Department of Foreign Trade and Economic Cooperation, Ministry of External Relations of Mongolia

ダルハンウール県

Mr. Bataa Battulga Head of Chancellery, Governor Office of Darkhan-Uul Province, Mongolia

Mr. T.S. Munkhjargal Executive Director, Mongolia Japan Friendship Center

エルデネット市

Mr. Dauletbay Vice Governor, Orkhon Province

ボルガン県

Mr. Radnaa Choijamtsun Governor, Bulgan Aimag Mongolia

米国平和部隊

Mr. Rob Schexnayder Country Director, Peace Corps Mongolia

在モンゴル日本大使館

藤本 洋 三等書記官
山角 泰清 参事官 兼 医務官

JICA モンゴル事務所

松本 賢二 所長
江川 敬三 次長
小熊 誠 協力隊調整員
バトオルシフ ナフチャー 現地職員

中国

高広瑞 河北省科学技術委員会外事処
張学良 河北省衛生庁外事処
曲 雷 河北省人民医院リハビリテーションセンター名誉所長
宋光耀 河北省人民医院副院長
市橋美帆 協力隊調整員

2 調査結果概要

モンゴルに滞在した11月末は、同国においてはまだ冬本番ではないが、それでも一番寒い日には気温は氷点下25度に達した。

活動を視察した隊員のうち風邪等で体調を崩している隊員も若干いたものの、大半は、熱心な配属先同僚やカウンターパートと連携しつつ、有意義な活動をしていた。

特に幼稚園教諭隊員の活動はモンゴル国内の幼稚園教諭の間に口コミで広がっており、地方でも派遣に期待感があった。

また、文部省、ダルハン県庁、ボルガン県庁等の先方機関からは、協力隊事業に理解と協力が得ており、今後の隊員派遣拡大に対する期待が表明された。

残念に思われたことは、地方都市ダルハンでは隊員8名、専門家2名合計10名のJICA関係者間で連帯感が感じられたものの、首都ウランバートルでは、生活が便利になり個人主義が強まっているためか、隊員間の連帯感があまり感じられなかったことである。

3 対処方針に沿った調査結果（モンゴル）

3-1 生活環境

- ・ 治安：特に凶悪犯罪等は報告されていない。ただし、致死事件の発生率が昨年比で35%増加した（多くは交通事故）との報告があり油断はできない状況。
- ・ 各都市の状況

(1) ウランバートル

- ・ 住居：防犯、衛生面、部屋数等、必要最低限の条件は確保されている。
- ・ 通信：各隊員と電話もしくは無線で連絡が取れる状況
- ・ 市場調査
玉ねぎ、ジャガイモ、ニンジン、白菜、ピーマン、トマト、リンゴ、ナシ、柑橘類、ブドウ、イチゴ、パイナップル等生鮮食品は豊富。

肉は、羊、牛、豚、鶏等があるが、日本で売っているものと比較してやや脂身が多い。生活物資も比較的豊富。

醤油、味噌等日本食の調味料は調達不可能

- ・ 娯楽：ディスコやバーは数軒ある。専門家は JICA 事務所のビデオライブラリーを利用。
- ・ 情報：インターネットサービスがあるほか、NHK 衛星放送の受信（月 3000 円）が可能。

新聞は 1 週間から 10 日遅れで購読可能。

(2) ダルハン

- ・ 交通：ウランバートルから 2 時間半（車両）定期バス（ワゴン車）あり
- ・ 住居：防犯、衛生面、部屋数等、必要最低限の条件は確保されている。
- ・ 通信：事務所から無線による通信は不可能（アンテナ撤去済）。事務所との連絡は中尾隊員宅の有線電話か谷井隊員所有の携帯電話（私物）を通じて行う。ダルハン隊員間の連絡は無線で可能だが、建物による通信障害が大きく中継局を設ける必要がある。

- ・ 市場調査：ジャガイモ、玉ねぎ、エンジンは年間を通じて手に入る。キャベツ、トマト、ピーマン等は真冬の入手困難。

生活物資については、必要最低限のものはあるが、不足感は否めない。

当市訪問中に小職のカメラのリチウム電池が切れてしまい、街の電気店、カメラ店数軒を探すが入手できず。

- ・ 娯楽：ディスコが 1 軒、バーが数軒ある。

(3) エルデネット

- ・ 交通：ダルハンから 4 時間（車両）定期バス（ワゴン車）あり。
- ・ 住居：未確認
- ・ 通信：竹田隊員宅に有線電話が設置されている。
- ・ 市場調査：ジャガイモ、玉ねぎ、エンジンは年間を通じて手に入る。

生活物資は必要最低限のものはあるが、不足感は否めない。

ダルハンにて調達できなかつたリチウム電池は当市で調達できた。

(4) ボルガン

- ・ 交通：エルデネットから 1 時間半（車両）乗合タクシー（ロシアジープ）あり
- ・ 住居：県庁から隊員が派遣された場合にはアパートの確保が可能との発言あり。
隊員に提供される予定のアパートと同様のアパートを視察した。広さ、台所等の条件は整っているが、お湯の供給はない。
風呂は公共のシャワーを利用するか、鍋でお湯を沸かして部屋の中で行水。
- ・ 通信：電話ケーブルの敷設（仏の ODA）は完了している。各戸へのケーブル引き込みは随時可能。
- ・ 市場調査：ジャガイモ、玉ねぎ、エンジン、ピーマン、リンゴ、ブドウ等は市場（ザハ）で確認できた。生活物資については不足感は否めない。場合によっては、エルデネットへ買いだしに行く必要がある。
- ・ 娯楽：街に数軒バーがある。

3-2 医療事情（在モンゴル日本国大使館山角医務官の見解）

当国の医療事情は医師国家試験が最近設置されたばかりで、技術的にもモラル的にも信用性に欠

ける。最近日本からの援助等により最低レベルの底上げはなされたが、最高レベルは以前と変わらない。

CT等の機材もまだまだ不足しており、当国での手術はやむをえない場合を除いて極力避けるべきである。

緊急移送は、商業便もしくはチャーター便（SOS）により北京もしくは東京へ移送する。

商業便の場合の問題点は、モンゴル航空と緊急時のストレッチャー設置が確約されていないこと、税関の手続きのため、医療機器の機内持ち込みに約1週間を要することである。

チャーター便も、以前、邦人の緊急時移送時に出発が24時間以上遅れた例があり、いざというときのサービスの迅速性および信頼性は、さらなる改善が必要と考える。

風土病としては、結核や肝炎等があげられる。輸血用血液のチェックが不十分なため、輸血を通じてC型肝炎に感染する可能性が高い。

3-3 派遣分野

対外関係省、文部省、ダルハン県庁、エルデネット県庁、ボルガン県庁においてそれぞれ今後、隊員の協力が必要な分野について意見聴取を行った。その結果、いずれからも以下の分野での協力が求められるとの回答があった。

- ・教育分野（特に幼稚園教諭、技術科教師、家政）
- ・保健衛生分野（特に看護婦）

小職から、本邦での受験者が多く、当国になじむと思われる「青少年活動」を紹介したところ、文部省、ダルハン県庁から強い関心が示された。

3-4 ボルガン県視察報告

- (1) 応対者：県知事、県副知事、ガンボルト氏（JICA事務所現地職員の親戚で当地の有力者）、ほか
- (2) 要請：以下の二つ配属先に隊員を派遣して欲しいとの要望があった。

・幼稚園教諭

ア 配属先：ボルガン第1幼稚園

生徒数140名、教職員24名（うち教員12名）、8クラス（うち2クラスはゲル集落内に配置）

イ 状況：ボルガン県の中心的幼稚園。ボルガン県内の幼稚園教諭を対象としたセミナー等も当園で実施されている。また、英国の児童組織からセミナーを受け、障害児を一般の子供と同様に受け入れている。（現在は8名受入。歩行障害、聾啞等）

ウ 隊員に望む活動：楽器を使った、音楽を取り入れた教育を紹介してほしい。（楽器はピアノが1台ある）

・システムエンジニア

ア 配属先：ボルガン県庁

イ 状況：県庁の各部署、警察、裁判所等にはすでにコンピューターがあり、モデム、電話線等も整備されているが、知識不足から各コンピューターがネットワークで結ばれておらず、情報のやりとりができない。

ウ 隊員に望む活動：ネットワークの構築に協力してほしい。

(3) 他国ボランティア活動状況

ピースコーが以下のとおり派遣されている。

ア 派遣分野

英語教育分野 5名

医療分野 2名

イ 住居：アパートに住むボランティアもいるが、これまで派遣された多くのボランティアは自ら希望してゲルに住んでいるとのこと。

(4) 所感：今回要請背景調査を行った2件はいずれも、協力隊の技術レベルでも十分に対応できるものであり、業務内容が具体的であるところ、隊員の活動として妥当なものと思われる。県庁、配属先ともに協力隊事業に理解があり、主体性と熱意が感じられる。アパートの供給が先方から表明されており、交通、通信等も比較的整備されていることから、最低限の生活は可能と思われる。ただし、お湯の供給がないこと、物資の不足感、娯楽の少なさ等から、当地へ隊員を派遣する場合、相当の創意工夫や自己管理が可能な人物か否かを見極めることが不可欠と考える。

3-5 APCの活動状況

- (1) 対応者：Rob Schexnayder モンゴル事務所長
- (2) 派遣人数：75名
- (3) 派遣分野：英語教師がもっとも多い。ほかに環境、医療。特に医療分野はUNICEFとの連携が開始されたので、今後期待される。
- (4) 派遣地域：全ての県（別添リストのとおり）
- (5) 要請発掘手法：毎年100～200件の要請が先方から上がるので、それが実際の必要性を伴わない配属先長の独断によるものでないか等を調査する。
- (6) 住居：アパートもしくはゲル
- (7) 連絡頻度・方法：2ヶ月に1度配属先を訪問している。適宜配属先等の電話で連絡を取っているが、場所によっては連絡は困難。
- (8) 緊急移送手段：軍、モンゴル航空と協力してヘリ、チャーター便を派遣。北京経由でハワイに移送することとしている。現在のところ前例無し。
- (9) ボランティアからの苦情等
英語教師から生徒たちのモチベーションの低さについて苦情が寄せられる。多くは校長が実際のニーズを勘案せずに、独断で要請を上げたことによる。
また、C/Pについての苦情も多い。C/Pが酒ばかり飲んで仕事をしない、副業が忙しすぎて指導する時間がとれないなどの苦情が寄せられる。
生活環境についての苦情はほとんどない。

3-6 シニアボランティアについて

- (1) 進捗状況（大使館：藤本書記官との打ち合せ）
RD締結以来、ほとんど進展していない。当該事業についての情報が不足しており、業務に手聞取っている。特にどのような人が登録者にいるのかということを示せず、苦慮している。

来年1月に外務省本省から大使館を通じて要望調査を行い、3月に正式要請提出の予定。

(2) 先方機関との協議

ア 対外関係省

7月のRD締結以前に各方面にシニアボランティアについてのアンケートを行った結果、多くの機関から強い関心が示された。特にインフラ、教育、保健衛生分野から多くの関心が得られた。うちNGOからの要請3件については、文書で取りつけ済み。

イ 文部省

10月に本邦での研修において当該事業を知り、帰国後各方面に事業を紹介したところ各方面から関心が得られた。ただし、生活環境、職場環境等は今後調査の必要がある。生活環境について、いくつかの機関から、家族同伴の場合の住宅を確保するのが困難との意見が出ている。

(3) 生活環境について

ア ウランバートル（橋本専門家宅訪問）

- ・住居：防犯の点で大きな不安はない。広さ、部屋数等は申し分ない。断水が多く、お湯が出ないことも多いが、水をためておく等の工夫で対応可能。
- ・食生活：野菜、果物は大体そろそろ。肉類は工夫次第でおいしく食べられる。醤油、味噌等は親戚に送ってもらう。
- ・娯楽：ほとんどない。JICA事務所のビデオライブラリーからビデオを借りてみるのが楽しみ。もっと増やしてほしい。冬の運動不足は気になる。チンギスハンホテル内のジムをたまに利用する。
- ・情報：NHKの衛星放送が受信可能（月3000円）。新聞は1週間～10日遅れ。
- ・通訳：新聞で広告を出して雇用した。口頭での通訳のほか、文書の作成も依頼。\$300/月

イ ダルハン（藤本専門家宅訪問）

- ・住居：防犯の点で大きな不安はない。広さは申し分ない。断水多いが、苦勞をするほどではない。お湯の供給は比較的安定している。
- ・食生活：夏は野菜比較的豊富。冬は野菜の品数が減るので、時々ウランバートルに車いっばいの野菜を買い出しに行く。買って来た野菜は冷凍庫に入れて保存する。（隊員にも配って下さっている。）醤油、味噌等は赴任時に320kg、休暇一時帰国時に150kg携行した。それ以外にも月1回日本から送ってもらっている。
- ・娯楽：酒を飲むこと。隊員としばしば会を催している。
- ・情報：NHKの受信は以前できたが、現在はできなくなっている。会社から雑誌を送ってもらっている。
- ・通訳：新聞広告を出して雇用した。通訳はウランバートルから来ているので、アパート代等でウランバートルで雇うよりは高い。

3-7 モンゴル事務所長協議内容

(1) 健康管理員の配置について

従来から依頼している件だが、健康管理員の当事務所への配置を最優先で検討してほしい。

これまで隊員の健康管理は、「母と子の健康PJ」の伊藤リーダーに診てもらっていた。伊藤リーダー不在の場合は大使館の医務官もしくは、延世病院（韓国の支援による病院）の韓国人医師

にお願いしていた。今回、伊藤リーダーが 11 月末に帰国し、後任は医者ではなく薬剤師の方が来ることになっている。また延世病院の韓国人医師もまもなく帰国予定であり、以後韓国から医師の派遣予定はない。結果として、今後大使館の医務官に一元的にお世話になることとなるが同医務官も不在の場合があり、緊急時の対応に不安が残る。

(2) 地方展開について

事務所から車で 1 日の行程で着ける範囲であれば、地方展開は前向きに考えてよいと思料する。赴任に際して国内線航空機の利用が必要な地域については、航空機の安全性に不安なとはせず、当面見合わせたい。

当国は冬季の環境が厳しく、特に地方においては、精神的に不調に陥る例が APC や UNV から報告されている。このような場合には、現地での活動の継続を奨励することはせず、速やかに任地変更、または任期短縮することとしたい。

(4) 地方との連絡について

事務所と特定の隊員を電話もしくは携帯電話で結び、地方隊員間は短距離無線でつなぐことで対応できると考える。ただし、電話を持つ隊員が留守の場合も考えられるので、最低でも 2 方向のルートを確保しておきたい。

(5) シニアボランティアについて

RD 締結以来、大きな進展はない。大使館、当事務所ともに当事業に関する情報が不足しており、苦慮している。

派遣先としては、NGO や各業界の協会等民間に近いところを検討している。

派遣数は、当国の人口（約 250 万人 うちウランバートル約 60 万人）を勘案して最大で 10 名が妥当と考える。

4 各隊員の活動状況（モンゴル）

4-1 技術大学日本語学科（洞野綾子隊員 10/1 日本語教師）

技術大学の日本語コースは 96 年 2 月に立ち上げられた。クラスの内容は技術通訳者育成である。現在 1 クラスあたりの学生の数が過剰で、レベルにばらつきが出てきている。

同じく技術大学配属の常盤隊員（10/2 建築）の協力も得て、技術用語を授業に取り入れている。授業は、ほとんど視察できなかったが、声が大きく聞き取りやすい日本語で話していたのが印象的であった。

4-2 技術大学建築学科（常盤岐恵 10/2 建築）

報告書に前任隊員が供与した建築関係の雑誌・書籍が整理・利用されていないとの記述があったが、現在コンピューターを活用して、各号の掲載内容等をデータベースにする作業を行っており、今後は有効に活用される見込みである。

当該隊員は設計の授業を受け持っている。視察した際には、4 年生が「理想の 9 階建マンション」の設計に取り組んでいる最中であった。提出期限ぎりぎりまで課題を制作しないことに隊員は悩まされているようだが、学生の作品はレベルの高いものであった。

4-3 技術大学技術伝達部（荒井順一 8/2 視聴覚教育）

技術伝達部では教育機関用のビデオ教材を作成している。制作資金は米国のソロス財団から供与

されている。カウンターパートとともに撮影、編集等を行い技術を指導している。

視察時には小学校向けの電気をあつかったビデオを見たが、巧みにカウンターパートの自宅や身近な映像を取り入れながら、電気のことを理解しやすい作品に仕上がっていた。

12/1 で後任が派遣される予定であり、荒井隊員帰国後、空白期間が生じることになるが、その間はカウンターパートで対応可能とのこと。

4-5 第一バス公社（中神幸二 10/2 自動車整備）

モンゴルでは、JICA の知名度が高いが、その主たる要因は第一バス公社のバスであろう。ウランバートル市内では至る所で、日本の無償資金協力で供与されたバスが、ODA のマークをつけて走っている。中神隊員はそのバスの整備の指導を行っている。

あいにく当日は中神隊員は風邪で体調を崩し、活動を視察することはできなかったが、佐々木専門家に配属先を案内していただいた。

配属先長からは、エンジンのメンテナンスの技術を引き続き隊員から学びたいとの申し入れがあった。

4-6 人文大学（本間郁子 9/2 日本語教師、山下友子 10/1 日本語教師）

同大学には、これまで7名の隊員が派遣されている。

現在は C/P は特に設置されず、隊員2名が独自に活動を行っている。

同大学の英語、ドイツ語、韓国語学科出身者と比べて、日本語学科の卒業生は就職が難しいという事情があるが、生徒たちは熱心に日本語を学習している。

現在、隊員が自分の授業の準備に追われて同僚等への指導がなされていない意見が隊員から出され、学科長からは今後、隊員の担当時間数を減らして、教師を指導する時間に充てたいとの回答をえた。

4-7 文化芸術大学（杉山直美 10/1 婦人子供服）

モンゴルでは一般的に東欧の平面式裁断法を用いて服を制作しており、同大学は前任隊員（長縄正治）が指導した文化式（立体裁断）が採用されているモンゴル唯一の学校である。

学長から「長縄が結婚したらしいのでおめでとうと伝えてくれ」とのコメントがあったが、この発言からも前任隊員がいかに配属先と深い信頼関係を築いていたかを窺い知ることができた。

視察時は3年生のジャケットの制作実習中であった。

このときは平面式で授業を行っていたが、補習で文化式の指導もしているとのこと。

モンゴルには、服装に気を使う風土があり、服装の制作技術も決して低くはないとのこと。

前任隊員が WID 関連特別機材でミシンを供与し、現在も昼は授業で使っているほか、夜間は失業対策として、一般が技術を学ぶために使われている。

4-8 文化芸術大学（中野佳恵 10/3 陶磁器）

非常に熱心なカウンターパートと共同で毎時間授業を行っている。

陶芸に限らず、色彩、デッサン、アナトミー等の指導も行っている。

中野隊員によると、同校の学生のレベルは高いとのこと、展示してある生徒の作品のなかには鋭いセンスを感じさせるものもあった。

問題点としては、陶磁器は本来 1200℃の温度で焼かなければならないが、同校の窯は 1000℃までしかあがらないことがある。今後支援経費の利用も考えている。

4-9 第 23 中学（大畑美穂 9/1 日本語教師、江口久美子 10/1 日本語教師）

かつては、すべての授業をロシア語で行っていたが、現在は外国語学校としてロシア語、韓国語、日本語等の学科を有する。

日本語学科の学生は、2年生から日本語を勉強している。毎年約 20 名の生徒が日本へ 2,3 ヶ月の留学に行くとのことであり、モンゴルの生活事情を考慮すると当校の学生は相当裕福な家庭の子女であると思われる。

当校では両隊員の授業を視察することができた。

大畑隊員の授業は3年生（日本の小学校4年生）のクラスであった。隊員が作成した教科書を使って授業を行っていた。素直でかわいい生徒たちであったが、ガムを食べている子供が数人いたのが目についた。隊員によると注意するとガムをくれることもあるとのこと、全く悪気はないようではある。役割練習（教室の前で教科書の登場人物になって会話の練習）の時間になると生徒たちが先を争って手を挙げていたのが印象的だった。

江口隊員の授業は2年生（日本の小学3年生）であった。

まだ、勉強をはじめたばかりとのことで、仮名の勉強をしていた。自ら作成した絵教材を使ったり、替え歌をみんなで歌ったりと子供たちに興味を持たせる工夫が随所に見られた。

また、日本語図書コーナーでは8年生（日本の中学3年生）が漫画（ブラックジャック）を読んでいた。話す日本語も相当に流ちょうであった。

4-10 第 18 中学（森下聡美 9/2 日本語教師）

当日は、訪問時間の都合で、隊員の授業風景を見ることはできなかったが、カウンターパートの授業を見ることができた。1年生の授業で、「十人のインディアン」を日本語で歌って、物の数え方を指導していた。発音に若干不明瞭なところがあったが、授業のほとんどを日本語でおこなっていた。

協力隊を1名増員して欲しい、との希望が校長から出されたが、現在1名のモンゴル人教師が増員されることが、前提となろう。

隊員は、今後、担当コマ数を減らして、教材を作りたいとしていた。

4-11 第 42 幼稚園（藤野紀子 10/1 幼稚園教諭）

日本の幼稚園と異なり、当国の幼稚園は就学前教育の場として考えられ、指導要領は具体的である。文字の学習から簡単な算数の学習までが指導要領で決められている。

隊員は各クラスを巡回して日本の歌や踊りや遊びを指導している。

視察時も日本の歌を日本語で歌っていた。

園長の話によると隊員の技術はファイルとして蓄積されており、派遣終了も視野に入れているとのことであった。

4-12 ダルハン治療保育園（高橋生仁子 10/2 保母）

当園は 93 年に設立された貧困家庭の子供や孤児たちを預かる福祉施設である。園児の中には貧困

に起因する栄養失調、貧血、成長不良のある子供が多く、一般の保母に加えて、医者や看護婦も当園で勤務している。

クラスは7クラスあり、うち5クラスは24時間制度である。

隊員は7つのクラスを巡回して、歌や踊りの指導を行っている。子供一人一人を大切にしたい教育の指導を目指している。

また、卒業生は大半がダルハン12中学にするとのことであり、12中学への隊員の派遣も今後検討していきたい。

4-13 ダルハン第7中学（谷井明美 9/3 日本語教師、中尾美樹 11/1 技術科教師、島田嘉恵 11/1 家政）

当日、当校は給料の未払いによる教職員のストライキ中で、活動の視察はできなかった。

それでも、教職員は授業はしないものの、定刻に出勤して仕事をしていた。

日本語教育は5年生から実施している。日本語は正規の授業であり、外国人講師は隊員しかいないため、後任は確実に確保してほしいとの申し入れがあった。

中尾隊員と島田隊員はいずれも5年生以上を対象にカウンターパートと共同で授業を行っているとのこと。

4-14 国立技術大学ダルハン分校（福森美樹 10/3 窯業）

福森隊員は、受験時に陶磁器から、窯業に職種変更した経緯がある。日本での専門は陶磁器であり、窯業の実務経験はなかった。そのため、やはり様々な苦労があるようであった。

しかしながら、持ち前の明るさで、周囲に溶け込んでおり、同僚や学生との関係は良好な様子であった。

現在は、釉薬と、耐熱レンガに関する授業および卒論の指導の他、日本語も教えているとのこと、校長からは、2000年の2月以降、陶磁器の技術も指導してもらいたいとのコメントがあった。

4-15 ダルハンウール県技術専門学校（黒木英明 10/3 電気機器）

黒木隊員は、あまり外向的なタイプではないが、そのまじめな人柄と、豊富な知識により、配属先の同僚や学生から信頼を得ている様子が見て取れた。

校長からも、黒木隊員のようなまじめで優秀な隊員が当校に派遣されたいことに感謝するとの言葉が述べられた。

モンゴルでは、現在、保護継電器等を従来の機械式から、電子回路方式に切り替える流れにあり、現場ではすでに電子回路方式が多く使われている。他方で、当校には、旧ソ連式の教育を受けてきた教師が多く、新しい技術の指導ができず、現場とのギャップが生じている。そこで、隊員には特に、電子回路方式の保護継電器の原理の指導が求められているとのことであった。

4-16 医学病院救急センター（河野由佳 10/3 臨床検査技師）

当院はダルハン地区の中央病院である。

隊員は、現在マンパワーとして活動している。当院では、日本ではすでに使われなくなった技術を使って検査することが多く、現在のところ、隊員が教わることの方が多いという。

また、当院には94年に無償資金協力により医療器材が供与されている。うち、ほとんどは有効に利用されているものの、ヘモグロビン測定器（ERMA INC. Hb-350）は、現在利用されていない。

ヘモグロビン測定器は通常、標準血液を使って較正を行う必要があるが、当地では標準血液の入手が困難であることが、その理由とのことであった。

4-17 ダルハン水道管理局（八陣知広 10/3 水質検査）

当配属先はダルハンウール県の上水の供給および下水の処理を行っている。近年民営化され、現在は住民の水道代で支出をまかなっている。同隊員は郊外の下水処理場内の研究室でマンパワーとして活動している。現在は日本で下水処理に使用している微生物がモンゴルでも使用できるのかを研究している。下水処理場は郊外の高台の上であり、風もきつく非常に寒い。そんな厳しい環境の中、隊員は毎日徒歩で30分かけて職場まで通っているという。

4-18 オルホン県体育スポーツ委員会（10/1 竹田憲生 バドミントン）

当国で、バドミントンは導入されて間もないスポーツであるが、冬季でも屋内でできるスポーツとして、急速に普及している。

現在は、バドミントン協会会長がスポンサーとなり様々な経費を個人的に負担しているが、隊員は今後の発展性を考えて、会費制を導入することを検討している。

支援経費で、ラケット、シャトル等が供与されたが、有効に使用されていた。

4-19 第二病院（10/2 須藤晃代 看護婦）

モンゴル第1号の医療隊員である。現在は院内の9病棟を1ヶ月ごとに巡回して活動している。

1年目は環境に慣れることを目標を絞り、2年目からは指導的立場に立って日本の看護術の紹介や教材づくりを行っていきたいとのことであった。

訪れた日は、無償資金協力で供与された医療器材が搬入されている最中であった。3月に据え付けを完了する予定とのことであった。

4-20 国営モンゴルラジオ局（10/3 大沢晴美 放送）

配属先では、世界各国に向けて、その国の言葉で短波放送を流している。

隊員が配属されている日本語放送課では、日本向けに日本語の放送をしている。

同僚は、多くが日本への留学、研修経験があり、日本語のレベルは非常に高い。隊員は原稿のチェックを行っているほか、自らインタビューやアナウンス等も行っている。

後任について当方から、大沢隊員のように当該分野で実務経験を有する人材は少なく、今後も同隊員のような人材が確保できるとは、限らないと述べたところ、先方からは必ずしもマスコミでの経験は必要でない旨回答があった。

5 中国における調査結果

5-1 金城隊員活動視察

ア 学習者：省内の医療関係者（医師、看護婦等）

イ 学習期間：7月～2月

ウ 学習目的：日本での研修の準備

日本の医療雑誌を読むため

昇進試験のため／昇進試験には外国語（英語、日本語、古漢語から選択）が含まれ

ている

エ 授業視察

身ぶり手ぶりやユニークな絵教材等を取り入れたテンポのよい授業で、教室の雰囲気は終始よかった。学習者は皆やる気があり、積極的に質問をしたり、会話練習に参加していた。中国においては、教師が講義を行い、学生はひたすらノートをとるという授業形式が一般的であるため、学習者に積極的な参加を促す隊員の授業形式は斬新なものとして好評であった。

5-2 井ノ口隊員、大西隊員配属先視察

ア 配属先状況：当院のリハビリ科（康復科）は中国におけるリハビリの草分け的存在。98年9月には康復棟が完成し、その中でOT（作業療法）、PT（理学療法）を始め、言語療法、心理療法等が行われている。

イ 活動状況：大西隊員、井ノ口隊員ともにリハビリセンターでマンパワーとして活動しながら、日本の技術を紹介している。両隊員とともに巡回視察中もたびたび患者が隊員に声を掛けてきて、患者から信頼を得ていることが伺われた。

大西隊員は病院での活動の他に、病院に来られない患者のために在宅リハビリを行っている。

当院では義肢補装具に関する知識が不足しているため、義肢補装具の隊員が望まれている。

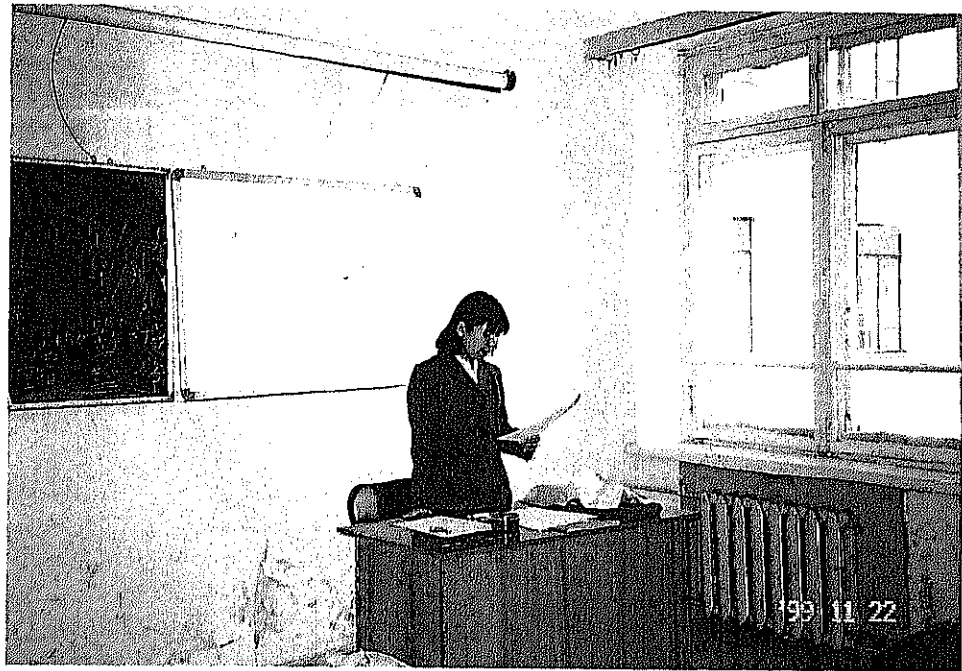
以上



隊員住居（西山隊員宅 10/2 電話交換機）



隊員住居（西山隊員宅 10/2 電話交換機）



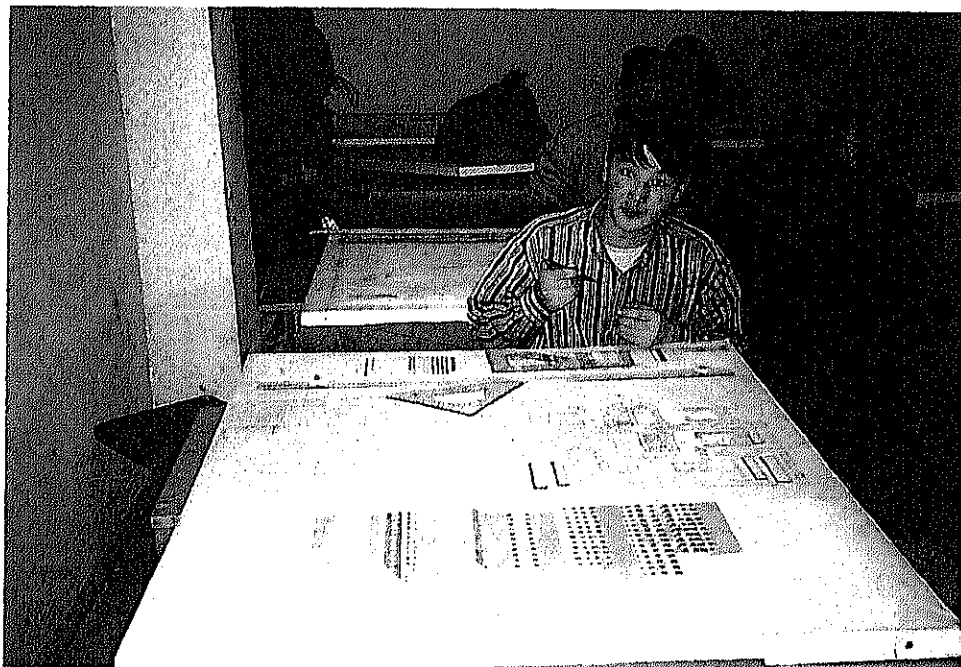
洞野隊員（技術大学 10/1 日本語教師）授業風景



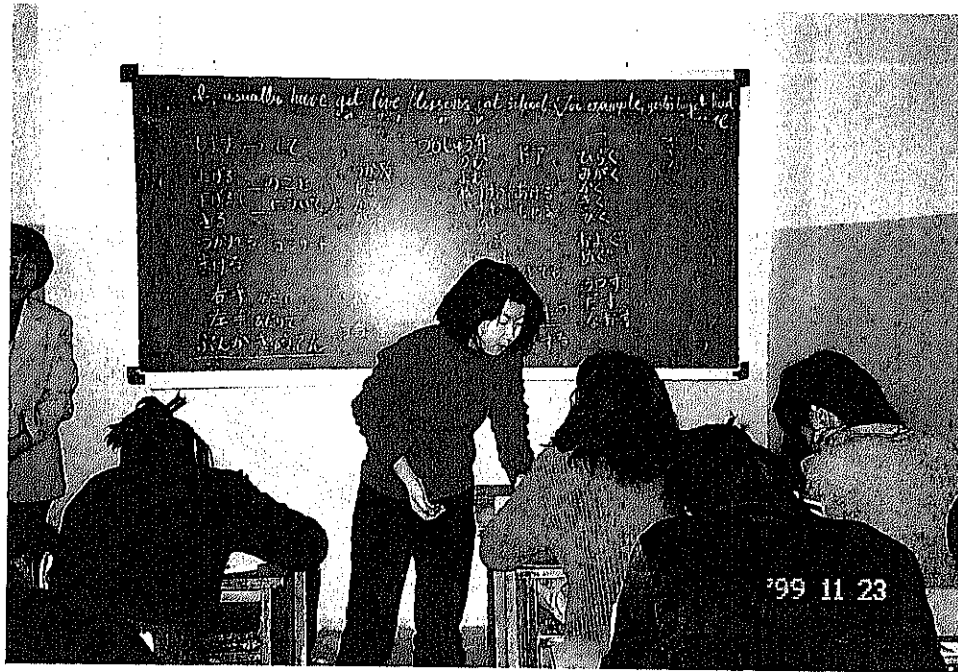
洞野隊員（技術大学 10/1 日本語教師）授業風景



洞野隊員（技術大学 10/1 日本語教師）授業風景



常磐隊員（技術大学 10/1 建築）実習風景



山下隊員（人文大学 10/1 日本語教師）授業風景



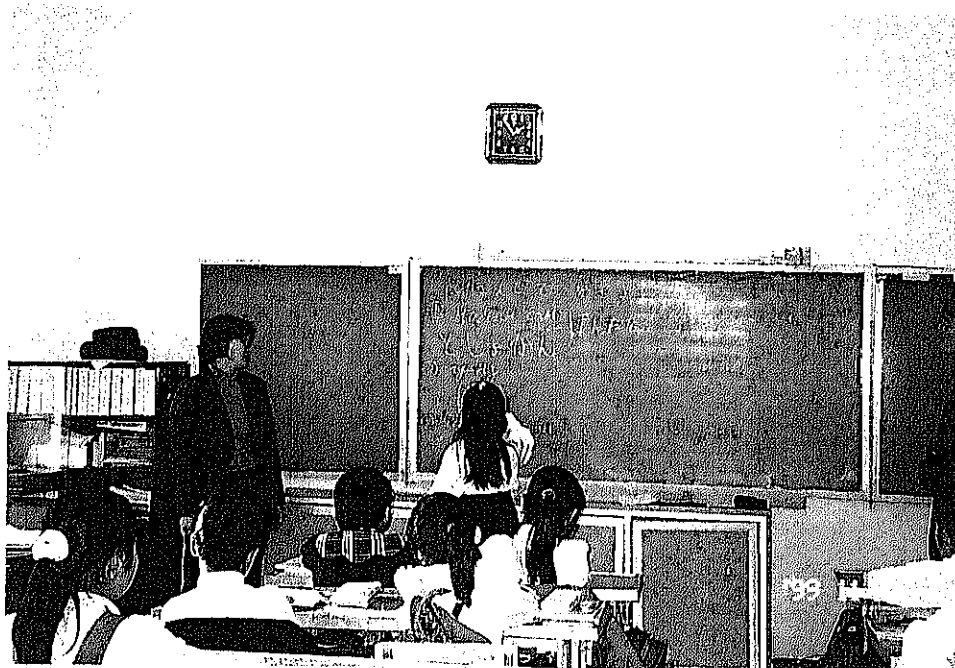
山下隊員（人文大学 10/1 日本語教師）授業風景



杉山隊員（文化芸術大学 10/1 婦人子供服）授業風景



中野隊員（文化芸術大学附属造形美術大学 10/3 陶磁器）授業風景
後方左から学長、C/P、隊員、西村団員）



大畑隊員（第23中学 9/2 日本語教師）授業風景



大畑隊員（第23中学 9/2 日本語教師）授業風景



大畑隊員（第23中学 9/2 日本語教師）授業風景



江口隊員（第23中学 10/1 日本語教師）授業風景



森下隊員（第18中学 9/2 日本語教師）C/P 授業風景



森下隊員（第18中学 9/2 日本語教師）C/P 授業風景



第4 2 幼稚園（藤野隊員 10/1 幼稚園教諭配属先）



第4 2 幼稚園（藤野隊員 10/1 幼稚園教諭配属先）



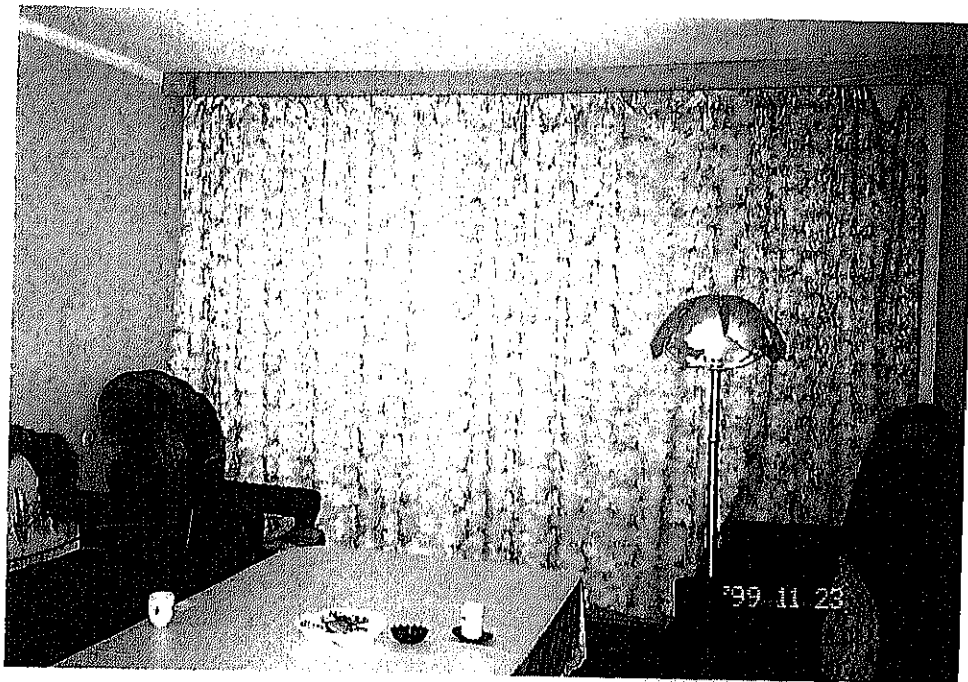
第 4 2 幼稚園 (藤野隊員 10/1 幼稚園教諭配属先)



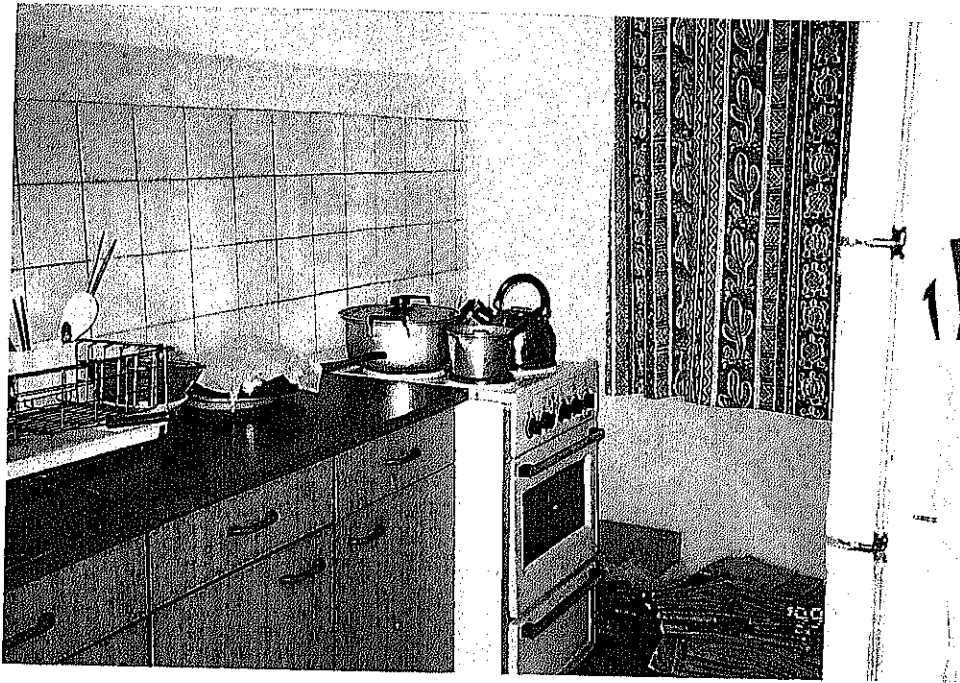
第 4 2 幼稚園 (藤野隊員 10/1 幼稚園教諭配属先)



橋本専門家住居



橋本専門家住居



橋本専門家住居



橋本専門家住居



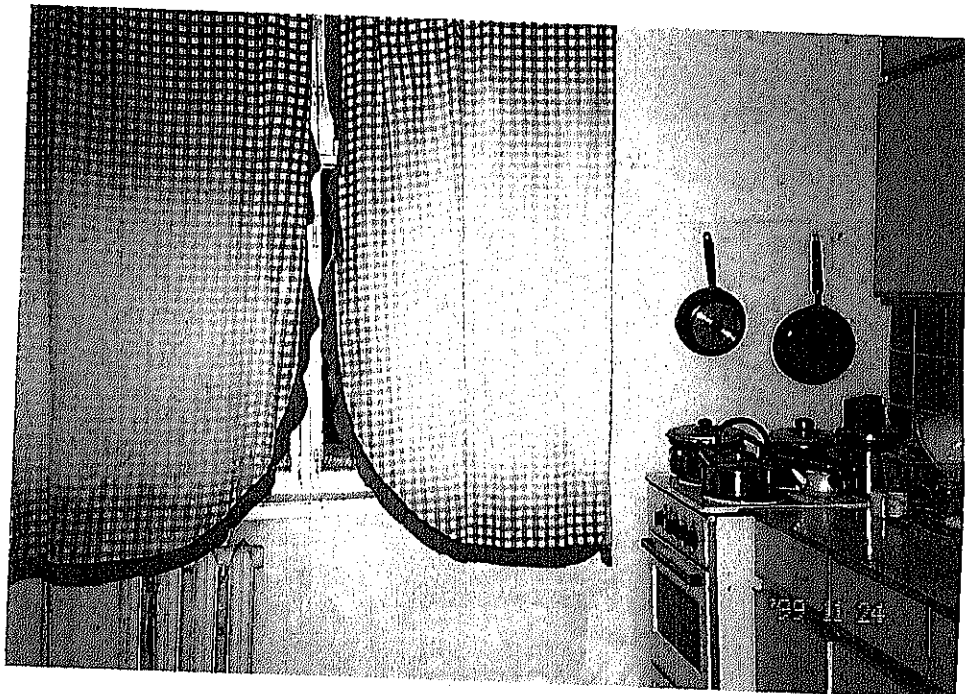
ダルハン治療保育園（高橋隊員 10/2 保母 配属先）



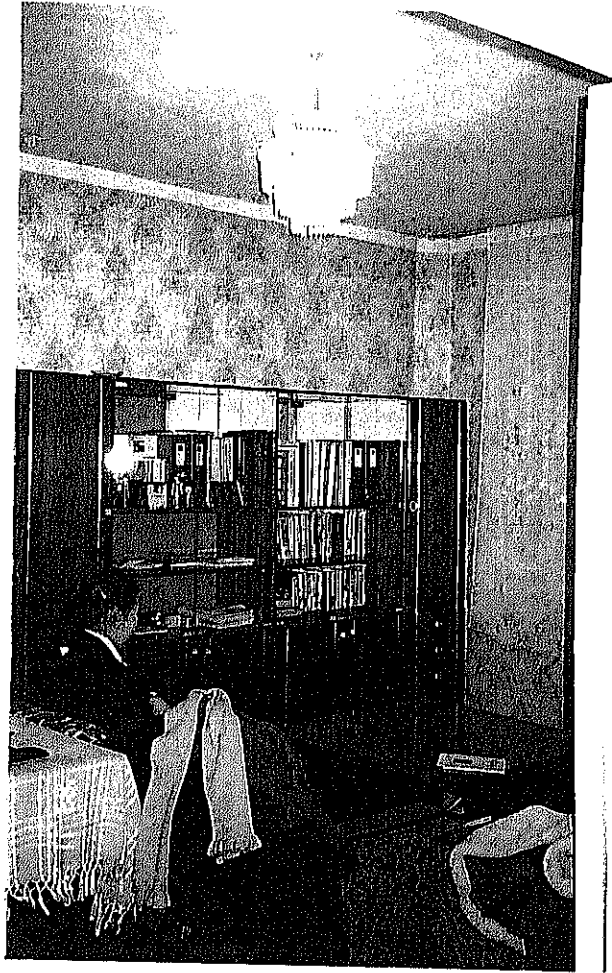
ダルハン第7中学（谷井、中尾、島田隊員配属先）木工室の様子



ダルハン第7中学（谷井、中尾、島田隊員配属先）家庭科室にて
左から島田隊員、C/P、校長、西村団員、家庭科主任）



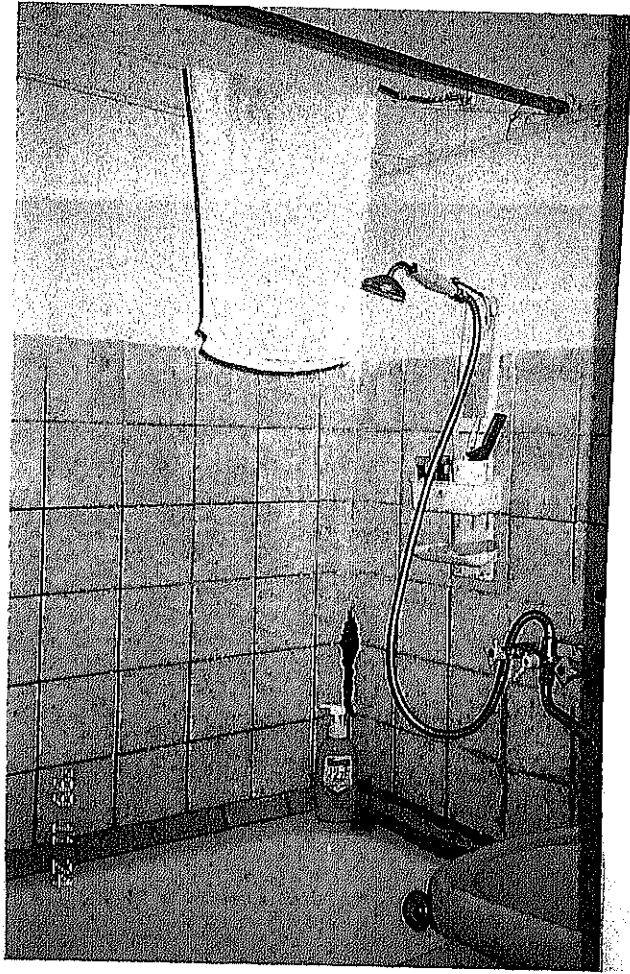
ダルハン藤本専門家住居



ダルハン藤本専門家住居



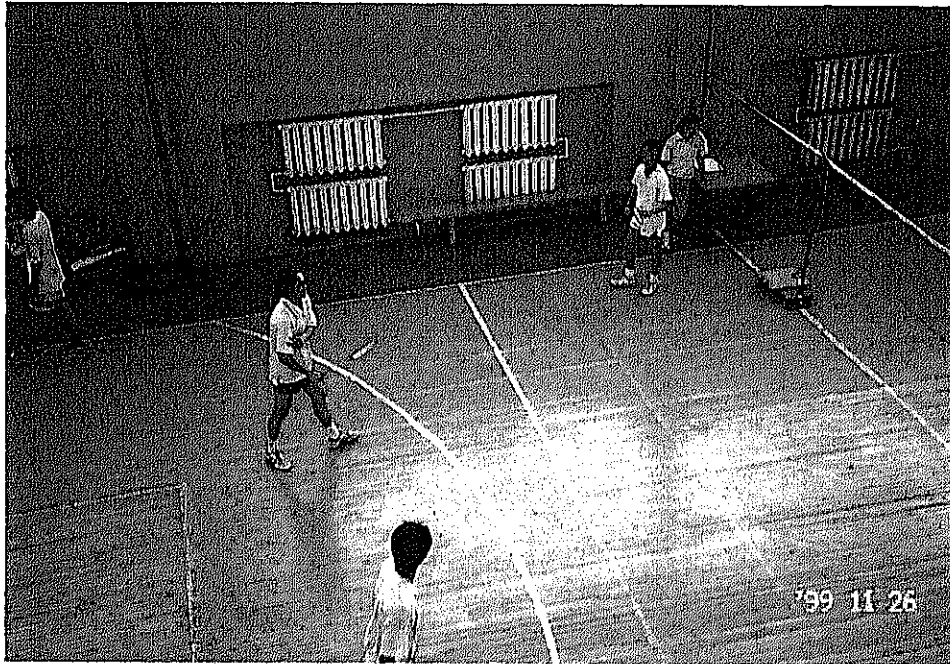
ダルハン藤本専門家住居



ダルハン 藤本専門家住居



ダルハン 藤本専門家住居



竹田隊員（オルホン県スポーツ委員会 10/1 バドミントン）活動の様子



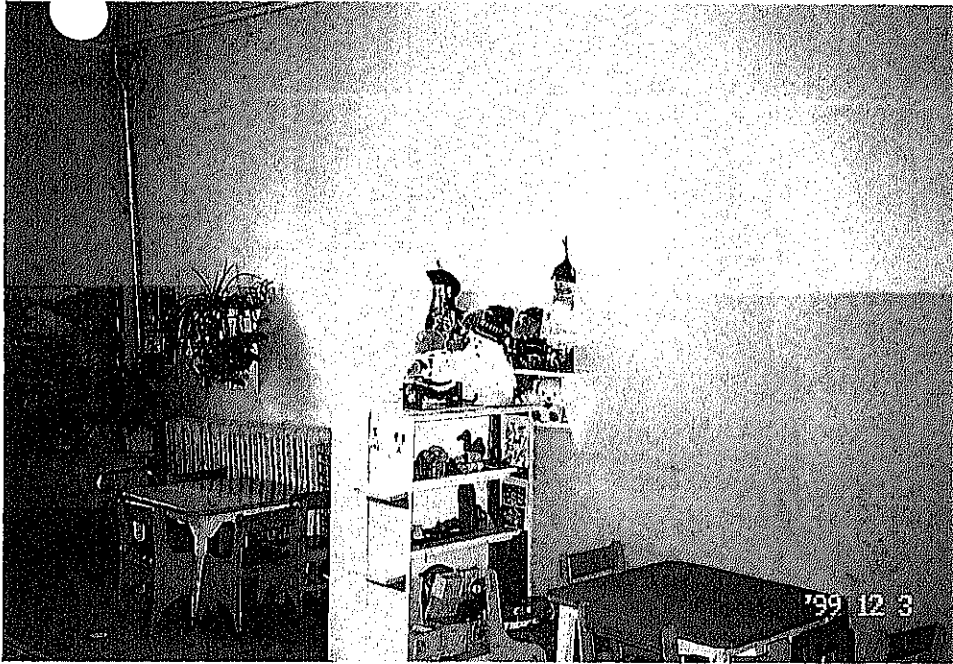
竹田隊員（オルホン県スポーツ委員会 10/1 バドミントン）活動の様子



ボルガン県副知事との協議



ボルガン第1幼稚園（隊員の派遣が求められている。）



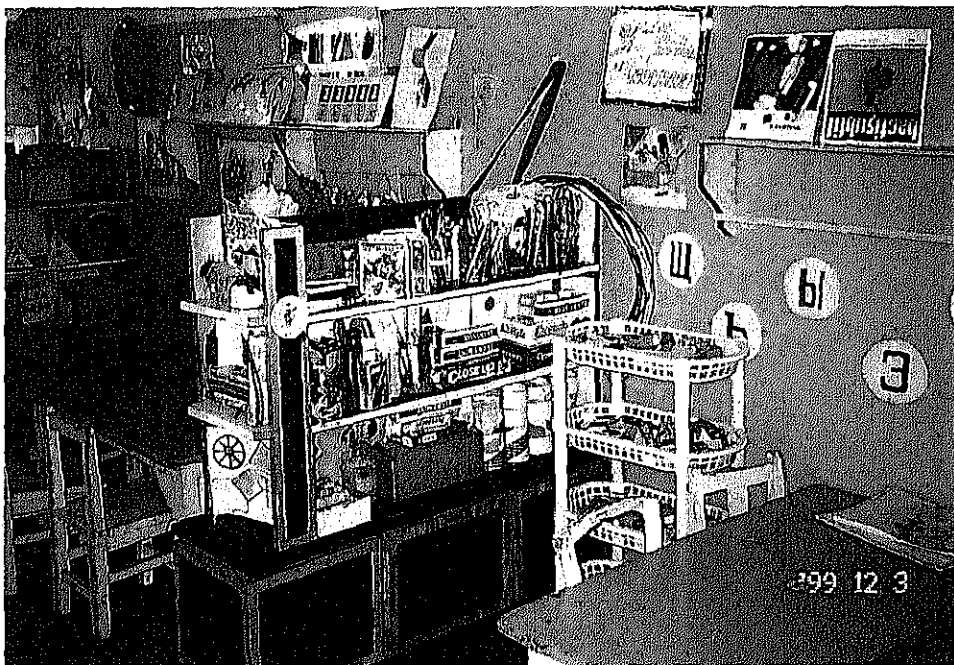
ボルガン第1幼稚園



ボルガン第1幼稚園



ボルガン第1幼稚園



ボルガン第1幼稚園



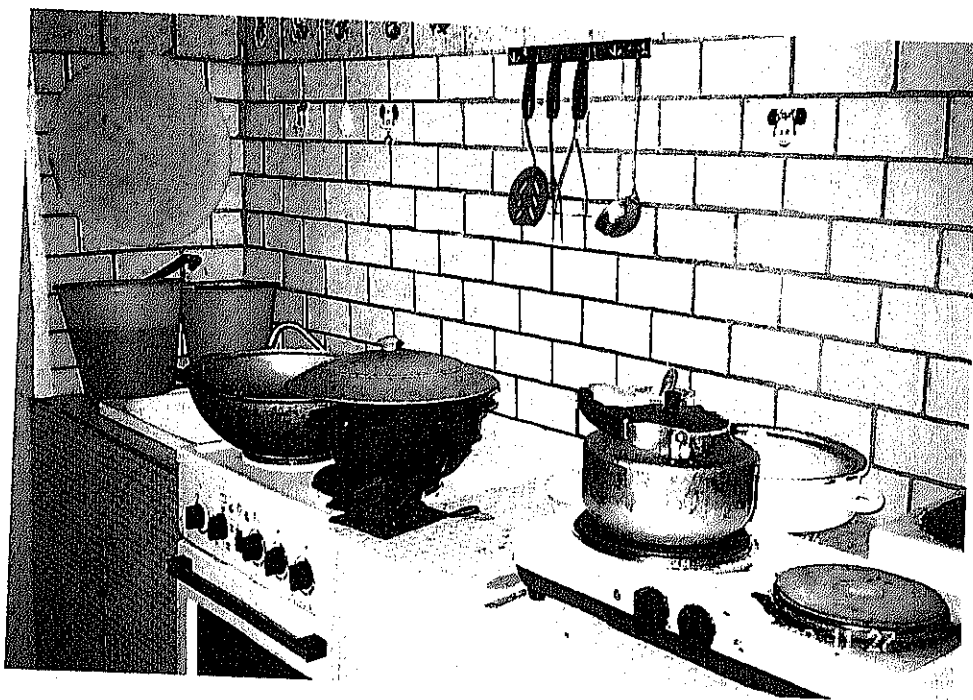
ボルガンの市場（物資は豊富とは言えないが、生活必需品はなんとか揃う）



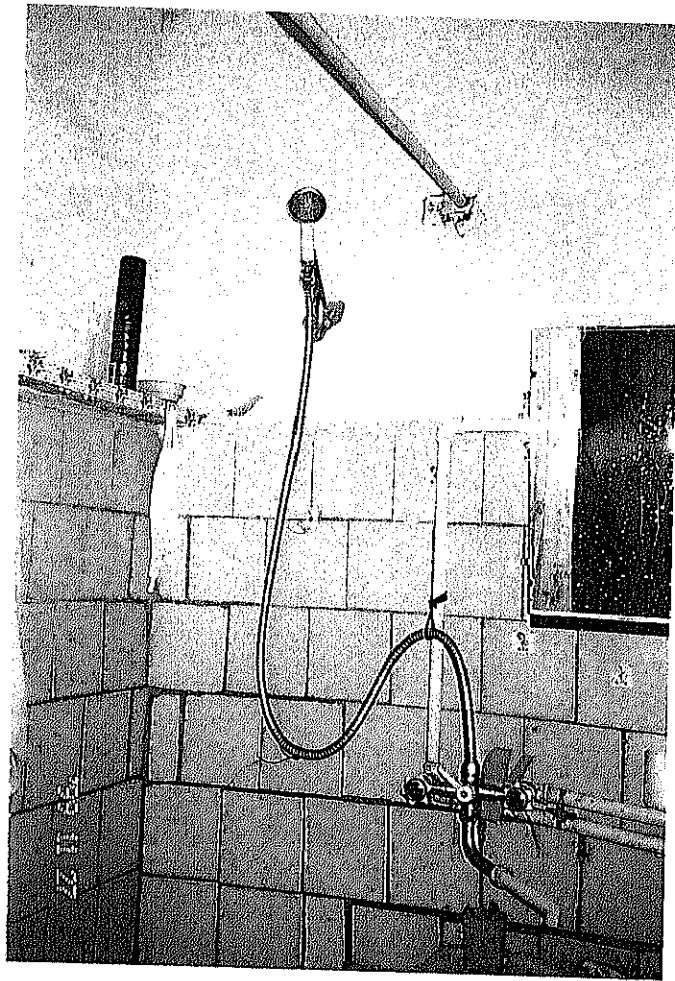
ボルガンの市場（日付は誤り）



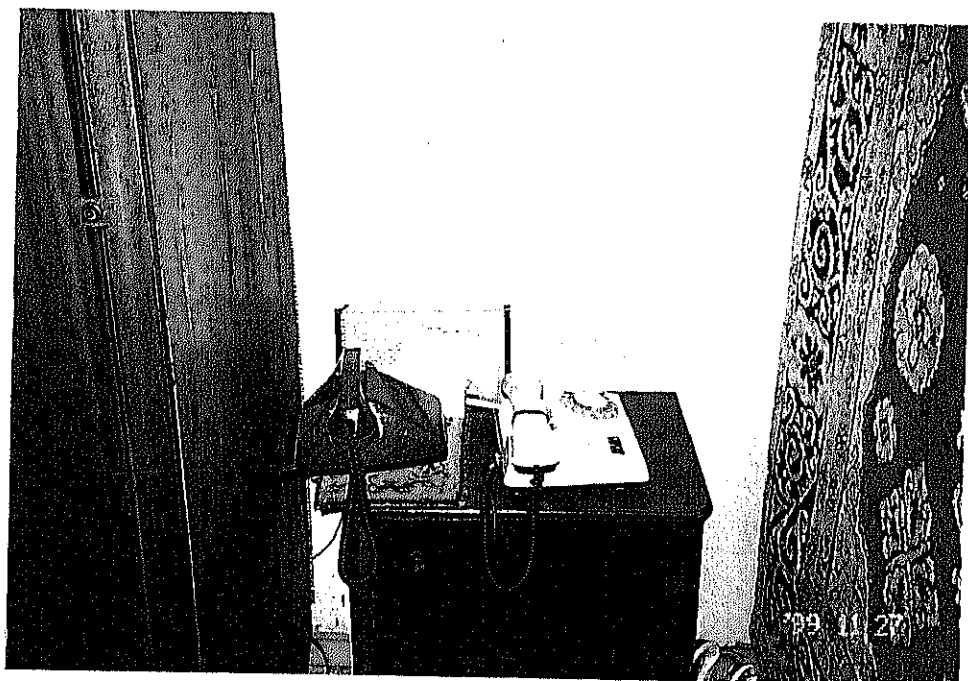
ボルガン市内のアパート（隊員が派遣された場合、同様のアパートに住むことになる。）



ボルガン市内のアパート



ボルガン市内のアパート



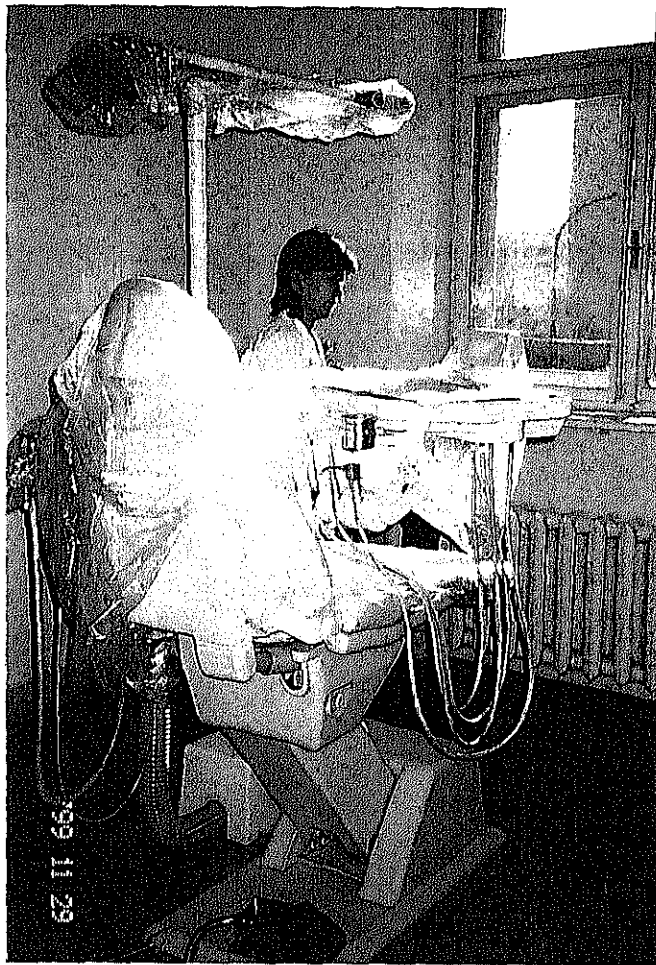
ボルガン市内のアパート



ボルガン知事室にて
左からボルガン知事、西村団員、小熊調整員、ガンボルト氏（事務所ローカルスタッフの親戚）



米国平和部隊モンゴル事務所にて
左から、西村団員、Schexnayder 所長



国立第2病院（須藤隊員 10/2 看護婦配属先）

これは、日本の無償資金協力にて供与された歯科治療機材

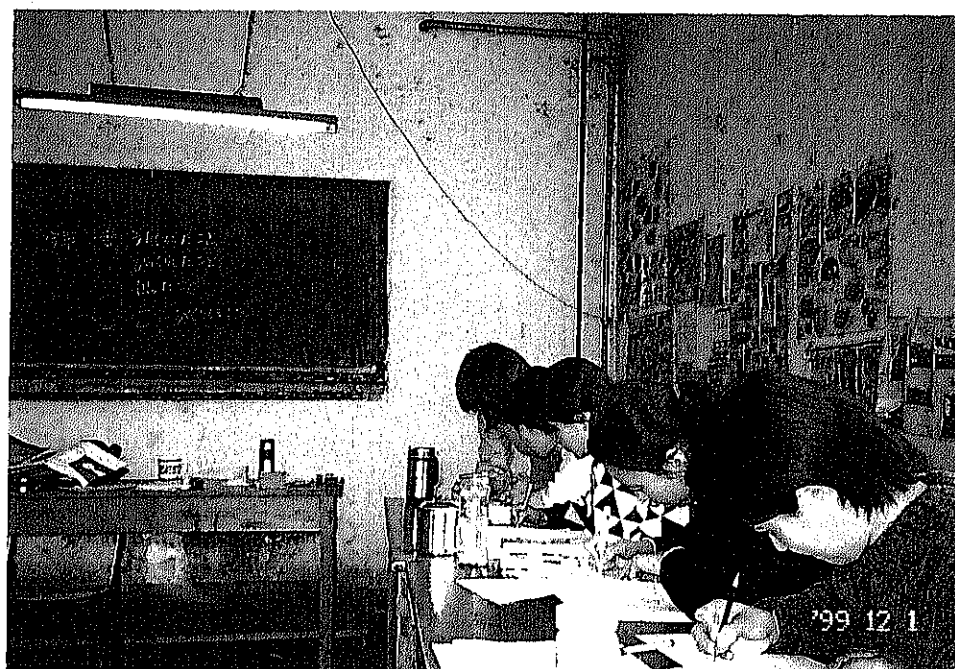


モンゴル国営ラジオ局（大沢隊員 10/3 放送）

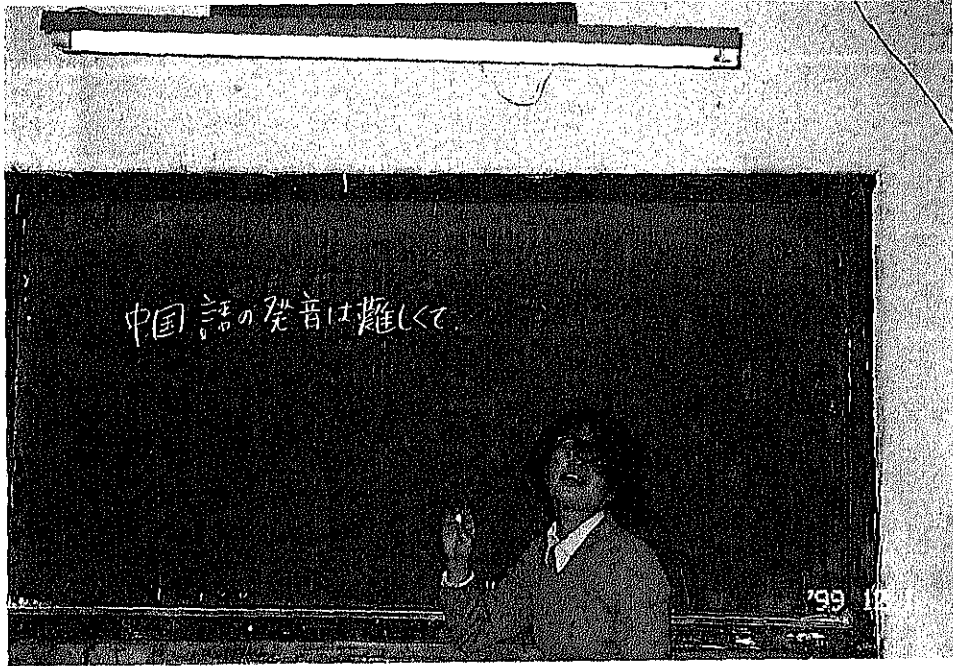
左から大沢隊員、日本語部長、西村団員、C/P、小熊調整員）



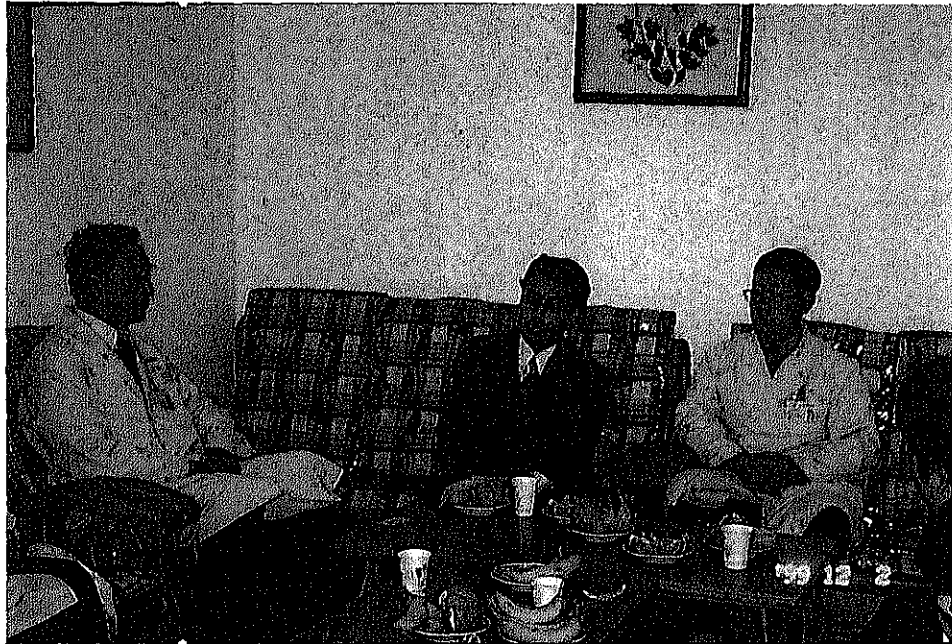
金城隊員（河北省衛生庁 10/1 日本語教師）授業風景



金城隊員（河北省衛生庁 10/1 日本語教師）授業風景



金城隊員（河北省衛生庁 10/1 日本語教師）授業風景



河北省人民病院（井ノ口、大西隊員配属先）での協議



河北省人民病院（井ノ口、大西隊員配属先）にて
白衣の男性は曲教授（中国におけるリハビリの草分け的存在）

課題・問題点	現状・背景	対処方針 (○：調査事項、●：協議事項)
隊員間の連携	<p>JOCVフェスティバルや機関誌「バーサン」の発行、専門用語集の作成などを行っているが、各職種の分科会等の活動状況は未確認。</p>	<p>○隊員間連携の実態を聴取 ●他国の例を紹介。</p>
生活環境	<p>一部の隊員から住環境に対する不満が出されている。</p>	<p>●大使館の治安状況認識聴取 ○市場調査 ○各隊員の住環境(暖房設備・お湯の供給・防犯設備) ●住環境改善の申し入れ(特に顕著なもの以外は控える)</p>
現地語学訓練	<p>現地語学訓練について、報告書に訓練所との重複が多い。教師の質に問題ありとの意見が散見される。 恒例のゲルステイを現在は事務所運転手のコネで行っているが、事務所は今後旅行社等の利用も考えたいとしている。</p>	<p>●現地語学訓練実施効率向上方法 ●日本側への要望聴取 ●旅行社の利用について</p>
地方との通信	<p>有線電話は設置まで1年待ちの状態。 配属先の電話は配属先長不在の場合使えない。 住居の電話は市内電話専用で地方隊員からは連絡不可 無線の通信状態不安定、信用性に欠く。 隊員は私費で携帯電話購入。 事務所は公費での携帯電話購入を希望している。</p>	<p>○有線電話の設置状況(配属先、住居等) ○無線の通信状況 ●ガイドラインの確認 ●携帯電話での連絡が必要となるケーススタディ ●専門家を含めた緊急連絡網の作成</p>
医療	<p>佐藤千秋隊員、虫垂炎で延世病院入院時に、伊藤専門家から「モンゴルの医療事情は最悪」とのコメメント。</p>	<p>○現地の医療事情(第2病院、ダルハン医学病院、エルデネット) ●緊急時の対応(北京・韓国へ移送か)</p>
地方展開	<p>ウランバートル28名(派遣中) 11名(派遣予定) 14名(要請) エルデネット 2名(派遣中) 1名(派遣予定) 0名(要請) ダルハン 8名(派遣中) 4名(派遣予定) 5名(要請) チョイバルサン、ボルガン、スフバートルも隊員受入に前向き</p>	<p>○地方都市の生活環境(住居、ライフライン等) ○要請背景 ○他国ボランティアの派遣状況(活動状況、要請発掘の手法等) ●派遣方針、阻害要因の確認</p>
派遣分野	<p>JICAの援助重点分野 ・経済、産業基礎のリハビリ ・市場経済化支援 ・農業、牧畜 ・基礎生活支援(教育、医療、都市インフラ等)</p>	<p>事務所方針を聴取 ●SVを派遣した場合のデマケ ●援助重点分野とのリンク (農業・牧畜、基礎生活支援に草の根からアプローチが妥当か) ●ソーシャルワーカー、青少年活動、村落サジェスチョン</p>
他国ボランティアの動向 (APC)	<p>年次報告書によるとAPCは主として地方に派遣、ボランティアはゲル住まいとの由。</p>	<p>○案件発掘手法 ○活動職種、場所 ○ゲル住まいの様子、困難さ。</p>

SV	<p>要請未着</p> <p>派遣分野</p> <p>派遣地域</p> <p>住居</p>	<p>99年7月RD締結。以降要請未着。 2000年1月に外務省本省からモ国大使館に要望調査依頼発出予定。 3月に要請提出予定。</p> <p>協会・法人といった民間に近い機関への派遣を検討中（事務所）</p> <p>ウランバートル・ダルハン・エルデネットは可能（事務所） 個別専門家は比較的高齢の方が地方にも行っている状況</p> <p>家族同居が可能な住居が必要 専門家では特に問題が生じた事例無し。</p>	<p>○要請取り付けの進捗状況</p> <p>○要請背景（受入希望調査表フォーマット持参） 他国からの受入希望調査表写を参考資料として手交。 ●先方関係機関に事業概要説明</p> <p>●JOCV、専門家とのデマケ</p> <p>○地方派遣専門家の生活環境</p> <p>●食・言語（通訳備上の例も）・安全・医療が懸案</p> <p>○家族同居可能な住居の確保の可否</p> <p>○専門家の住環境</p> <p>事務局方針：とりあえずウランバートル 将来的にダルハンも検討の余地あり</p>
----	---	--	--

現地調査団の視察日程

1999年11月19日作成

月日	時間	行程	備考	宿泊
11月21日(日) 運転手：ポルド	17:35 19:00	ウランバートル着 ホテルチェックイン	OM302	フラワー ホテル
11月22日(月) 運転手：ポルド	10:00～10:30 10:40～11:10 11:20～12:00 12:00～14:00 14:30～15:30 15:30～17:00 17:10～18:00 19:00～21:00	JICA事務所打ち合わせ 大使館表敬 対外関係省表敬 昼食 文部省表敬 技術大学視察 第1バス公社視察 懇親会	松本所長／小熊調整員 藤本書記官 貿易協力局バスター担当官 ソウルレストラン 協力局ウルトナサン局長 洞野隊員 (日本語教師) 荒井隊員 (視聴覚教育) 常盤隊員 (建築) 中神隊員 (自動車 ゲルレストラン	フラワー ホテル
11月23日(火) 運転手：ポルド 通訳：バット	9:30～10:30 11:00～12:00 12:00～13:30 13:30～14:30 14:30～15:30 15:30～16:30 17:00～17:20	人文大学視察 文化芸術大学視察 昼食 第23中学校視察 第18中学校視察 第42幼稚園視察 橋本専門家宅訪問	山下隊員 (日本語教師) 杉山隊員 (婦人子供服) ウィナーズカフェ 江口、大畑隊員 (日本語教師) 森下隊員 (日本語教師) 藤野隊員 (幼稚園教諭) 橋本専門家	フラワーホ テル
11月24日(水) 運転手：ポルド	9:00～13:00 13:00～14:00 14:00～14:30 14:40～15:40 15:40～17:30 18:00～ 19:00～21:00	UB→→→ダルハン着 ホテルチェックイン 昼食 市場調査 治療保育園視察 ダルハン第7中学校視察 藤本専門家宅訪問 懇親会	車両16-02 モ日親善協会事務局長 ホテルレストラン 銀行 高橋隊員 (保育士) 谷井隊員 (日本語教師) 中尾隊員 (技術科教師) 島田隊員 (家政) 藤本専門家 ホテルレストラン	ダルハン ホテル

月日	時間	行程	備考	宿泊
11月25日(木) 運転手：ポルド	9:30～10:30	技術大学ダルハン分校視察	福森隊員（窯業）	ダルハン ホテル
	10:30～11:30	技術専門学校視察	黒木隊員（電気機器）	
	11:40～12:10	ダルハン県庁表敬	ダルハン県知事	
	12:30～14:00	昼食	ノミンレストラン	
	14:00～15:00	医学病院救急センター視察	河野隊員（臨床検査技師）	
	15:00～16:00	水道管理局視察	八陣隊員（水質検査）	
	16:00～17:00	生活環境調査		
11月26日(金) 運転手：ポルド	9:00～14:30	ダルハン→→エルテネット着 昼食	車両16-02	セレンゲ ホテル
	15:00～16:00	オルホン県庁表敬（予定） スポーツ委員会視察	竹田隊員（バドミントン）	
	16:00～16:30	バドミントン協会表敬	ダンバオチル会長	
	16:30～17:30 18:30～	生活環境調査 懇親会		
11月27日(土) 運転手：ポルド	9:30～11:30	エルテネット→→→ボルガン	車両16-02	ボルガン ホテル
	12:00～12:30	ボルガン県庁表敬	ボルガン県庁副知事	
	12:30～14:00	昼食		
	14:00～15:00	幼稚園要請背景調査		
	15:00～16:00 以後	ボルガン県教育センター表敬 生活環境調査	教育局担当者	
11月28日(日) 運転手：ポルド	9:00～9:30	ボルガン県庁表敬	ボルガン県知事	フラワー ホテル
	9:30～18:00	ボルガン→→→UB着	車両16-02	
11月29日(月) 運転手：ポルド 通訳：ハット	10:00～11:00	ピースコー事務所打ち合わせ	Rob Schexnayder所長	フラワー ホテル
	11:00～12:00	第2病院視察	須藤隊員（看護婦）	
	12:00～14:00	昼食	Delacasaレストラン（未定）	
	14:30～15:30	ラジオ局視察	大沢隊員（放送）	
	15:30～16:00 16:00～18:00	JICA事務所打ち合わせ 市場視察等	松本所長／小熊調整員	
11月30日(火) 運転手：ポルド	10:30	ホテルピックアップ	CA902	
	12:30	UB発		

出張日程

出張者

JICA東京本部 青年海外協力隊事務局 中国担当 西村愛志
JICA中国事務所 調整員 市橋未帆

日程

11月30日（火）

西村国担当 14：30北京着（CA902 モンゴルより）



空港から、市橋と事務所車両（小李）にて直接石家庄へ



19：00 石家庄着（予定）

宿泊先：河北賓館（0311-5814735）

石家庄3名隊員と打ち合わせ

12月1日（水）

9：30～10：30 金城隊員授業見学（河北省衛生庁外国語訓練班）

10：30～11：30 同隊員配属先とミーティング

午後：大西、井ノ口隊員配属先訪問（河北省人民医院リハビリセンター）

活動視察及びミーティング

夜：北京へ戻る

12月2日（木）

午前：西村国担当、事務所報告。（JL782便 14：50にて帰国）

以上



PEACE CORPS MONGOLIA

1999-2000 SITE ASSIGNMENTS

<u>VOLUNTEER</u>	<u>SCHOOL/AGENCY</u>	<u>LOCATION</u>	<u>ASSIGNMENT</u>	<u>END OF SERVICE</u>
<u>ARHANGAI PROVINCE</u>				
Jane Baldwin	School Complex	Tsetserleg	TEFL	6/15/00
Sean DeCarlo	Education Center	Tsetserleg	TEFL Trainer	6/15/00
Jasper Ip	Public Health Center	Tsetserleg	Health	6/25/01
Ian Johnson	10 Yr Sec School	Ikh Tamir	TEFL	6/25/01
<u>BAYANHONGOR PROVINCE</u>				
John Maruschak	Education Center	Bayanhongor	TEFL Trainer	6/15/00
Jason Reed	10 Yr Sec School #2	Bayanhongor	TEFL	6/25/01
Allison Ehlert	8 Yr Sec School	Uziit	TEFL	6/25/01
<u>BAYAN-OLGI PROVINCE</u>				
Jonna Swanson	Altai Tavan Bogd PA	Olgi	Env	8/24/00
David Legler	10 Yr Sec School	Tsengel	Env Ed	6/25/01
<u>BULGAN PROVINCE</u>				
David Amidon	8 Yr Sec School	Rashaant	TEFL	6/15/00
Trang Le	8 Yr Sec School	Bugat	TEFL	6/15/00
Mark Guercio	Education Center	Bulgan	TEFL Trainer	6/15/00
Ron Rouisse	Public Health Center	Bulgan	Health	6/25/01
Mary Yokes	10 Yr Sec School #2	Bulgan	TEFL	6/25/01
Katie Church	Health Promoting Sch	Khishig-Undur	Health	6/25/01
Nathan Whitman	10 Yr Sec School	Inget Tolgoi	TEFL	6/25/01
<u>CENTRAL PROVINCE</u>				
Annette Payot	10 Yr Sec School	Jargalant	TEFL	6/15/00
Susan Cizek	Education Center	Zuunmod	TEFL Trainer	6/25/01
John Farrington	Som Government	Zaamar	Env	6/25/01
<u>DARKHAN-UUL PROVINCE</u>				
Nathan Boegler	Medical College	Darkhan	Health	6/15/00
Geoff Gese	Political Ed Academy	Darkhan	Sm Bus Dev	8/24/00
Scott Friel	Education Center	Darkhan	TEFL Trainer	6/25/01
Jeremy Campbell	10 Yr Sec School #15	Darkhan	TEFL	6/25/01
Annie Schleicher	"Od" Complex	Darkhan	TEFL	6/25/01
<u>DORNOD PROVINCE</u>				
Lita Anglin	SS #12 & Sch for Mgrs	Choibalsan	TEFL	6/15/00
Ann Winters	Env Monitoring Cntr	Choibalsan	Env	6/25/01
Chris Hoffmeister	10 Yr Sec School	Dashbalbar	TEFL	6/25/01

DORNOGOBI PROVINCE

Jennifer Ruwart	Medical College	Sainshand	Health	6/15/00
Betsy Nettelbeck	Railway School	Sainshand	TEFL	6/25/01
Sara Yun	10 Yr Sec School #2	Sainshand	TEFL	6/25/01

DUNDGOBI PROVINCE
GOBI-ALTAI PROVINCE

Karen Jumisko	Medical College	Altai	Health	6/15/00
Susanna Huang	10 Yr Sec School #1	Altai	TEFL	6/25/01

GOBISUMBER PROVINCE

Adam Brown	10 Yr Sec School # 3	Shiveegobi	TEFL	6/25/01
------------	----------------------	------------	------	---------

HOVD PROVINCE

Seung-Jin So	Har Us Nuur Prot Area	Hovd	Env	8/24/00
--------------	-----------------------	------	-----	---------

HUBSUGUL PROVINCE

Jeff Cook	National Park	Hatgal	Env	8/24/00
Thayer Tomlinson	10 Yr Sec School	Hatgal	TEFL	6/15/00
Chris Schweiger	Education Center	Murun	TEFL Trainer	6/25/01
Hope Rokosz	Spec Sch for Math #3	Murun	TEFL	6/25/01
Robert Natiello	Public Health Center	Murun	Health	6/25/01
Jennifer Jerrett	10 Yr Sec School	Chandmana-Ondor	Env Ed	6/25/01

KHENTII PROVINCE

Susan Kong	10 Yr Sec School	Umnudelger	TEFL	6/15/00
Sean Morrison	10 Yr Sec School	Binder	TEFL	6/15/00
Lindsay Stein	10 Yr Sec School #3	Ondorkhaan	TEFL	6/15/00
Beth Dombroski	Young Inventors Sch	Ondorkhaan	TEFL	6/25/01
Walt Rivers	10 Yr Sec School #1	Ondorkhaan	TEFL	6/25/01
Sandy Rivers	10 Yr Sec School #2	Ondorkhaan	TEFL	6/25/01
Katie Ives	8 Yr Sec School	Tsenkhermandal	TEFL	6/25/01

ORKHON PROVINCE

Carra Davies	Education Center	Erdenet	TEFL Trainer	6/25/01
Dildar Gartenberg	10 Yr Sec School #4	Erdenet	TEFL	6/25/01
Kim Hankinson	Public Health Center	Erdenet	Health	6/25/01

SELENGE PROVINCE

Eric Ellis	Env Monitoring Cntr	Sukhbaatar	Env	8/24/00
------------	---------------------	------------	-----	---------

SUKHBAATAR PROVINCE

Lee Randazzo	Education Center	Baruun-Urt	TEFL Trainer	6/15/00
Jason Jandle	Temuulel Complex	Baruun-Urt	TEFL	6/25/01

ULAANBAATAR

Eric Smith	Peace Corps Office	Ulaanbaatar	PCVC	7/25/00
Alexandra Cohn	Gobi Initiative	Ulaanbaatar	Sm Bus Dev	8/24/00
Karen Poland	Bogd Uul Protect Area	Ulaanbaatar	Env	8/24/00
Phil Riersgard	Junior Achievement	Ulaanbaatar	Sm Bus Dev	8/24/00
Char Riersgard	Nutrition Center	Ulaanbaatar	Health	8/24/00
Becky Zagurski	Hlth Mgmt Info Ed Cntr	Ulaanbaatar	Health	6/15/00
Andrea Gonce	Emerg Health Center	Ulaanbaatar	Health	6/25/01

UMNUGOBI PROVINCE

Tom Sweeney	8 Yr Sec School	Khurmen	TEFL	6/25/01
-------------	-----------------	---------	------	---------

UVS PROVINCE

Josh Evans	Uvs Basin SPA	Ulaangom,	Env	6/25/01
Stephanie Negrey	10 Yr Sec School #1	Ulaangom	TEFL	6/25/01

UVURKHANGAI PROVINCE

Christine Ryan	10 Yr Sec School #1	Khar-Khorin	TEFL	6/15/00
Susanne Cronk	10 Yr Sec School #1	Arvaikheer	TEFL	6/15/00
Amit Sharma	10 Yr Sec School #2	Arvaikheer	TEFL	6/15/00
Peg Green	Technological School	Arvaikheer	TEFL	6/25/01
Theo Poulis	Political Ed Academy	Arvaikheer	Sm Bus Dev	6/25/01
Tally Briggs	Math School	Khar-Khorin	TEFL	6/25/01
Maya Brown	10 Yr Sec School	Hujirt	TEFL	6/25/01
Bryan Pearson	10 Yr Sec School	Uziit	TEFL	6/25/01

ZAVKHAN PROVINCE

Nathan Burnore	10 Yr Sec School #4	Uliastai	TEFL	6/15/00
Dan Tarantino	10 Yr Sec School #2	Uliastai	TEFL	6/15/00
Tag Garza	10 Yr Sec School #1	Uliastai	TEFL	6/25/01
Kelly Hoyt	Economics College	Uliastai	Sm Bus Dev	6/25/01
Andrea Myhre	Land Policy Dept	Uliastai	Env	6/25/01

Program↓ / Group→	M-8 (3 rd yr)	M-9 (2 nd yr)	M-10 (1 st yr)	Total
PCV Coordinator	1			1
TEFL		14	26	40
TEFL/Teacher Training		4	4	8
Environment		5	6	11
Health		5	6	11
Small Business Development		3	2	5
TOTAL	1	31	44	76

- 第一病院 医科大学付属病院、全科そろっているはずだが心臓、脳の専門は弱い
夜間、緊急の受付には難がある。一般外科、内科、消化器の診断治療向きか。
日本人の入院経験数少なし。近いのでここから紹介ということも。
病院長とのコンタクトあり。
連絡、メンドサイハン院長 Tel: 323372 24hrs
大使館より500m以内
- 第二病院 外人、VIP病室あり、日本人の入院も多い。ただし、手術、ICUの管理は
良いとはいえ検査のため他院に紹介と言うこともある。軽症例の入院ではい
いかも。主治医数名とコンタクトあり。
連絡、ウフナー院長 Tel: 450129 24hrs
大使館より約1km
- 第三病院 脳外科、CT（断層撮影装置、モンゴル唯一）がある。頭部疾患、頭部外傷は
良い。ただし日本人の入院例少なし。脳神経内科医とコンタクトあり。
心臓外科もある様子。 （注意CTについては現在修理中）
連絡、ムハラ院長 Tel: 360127 24hrs
大使館より約3km
- 外傷病院 整形外科の院長。外傷に対応良く24時間体制。院長、整形外科医コンタクト
あり。レントゲンも比較的稼働している。
緊急外傷向き、また急なレントゲン必要時に利用。
連絡、ダワガ院長 Tel: 366809 24hrs
大使館より約3km
- 延世（Yonsei）病院 病院ではなく入院設備なし。軽症内科患者、血液検査、定期検査向
き。外科の対応（切り傷、打撲）は良くない。
内科（風邪、下痢）などは良い。院長は日本語での診療ができる。
歯科もあり。使い捨て針、注射器を使用している。治療費少し高い。
近いのでここから紹介が良いかも。
連絡、チュルチュン院長 Tel: 310945 9:00-12:30 13:30-17:30
大使館より約500m

公衆衛生、疾病状況 報告

(現地医療機関よりの聞き取り調査であるが、一部は再調査中である。)

1. 感染症と調査すべき項目 (医務官の手引きより)

1.マラリア	Malaria	Хумхаа	無
2.トリパノゾーマ症	Trypanosoma	три' аносома	無
3.リーシュマニア症	Leishmania		無
4.トキソプラズマ症	Toxoplasmosis	токсо' лазмоз	無
5.アメーバ症	Amebic dysentery	амёбная дизентерия	
6.ジアルディア症	Giardia intestinalis	現在ほとんど見られない かなりある	
7.回虫症	Ascariasis	аскаридоз	無 (再調査中)
8.鉤虫症	Ancylosis		無 (再調査中)
9.その他の腸内腺虫	Anquillulose		無
	Oxyurose		無
	Trichocephalose	трихоцефалёз	無
	Trichinose	трихинеллёз	無
10.フィラリア症	Filarioses lymphatiques	филяриатоз	ほとんど見られない
	Loase	лоаоз	無
	Onchocercose	онхоцеркоз	稀
	Dracunculose	дракункулёз	無
11.住血吸虫症	Systosoma		無
	Огт аюулгүй гол, нуурын нэр		
12.ジストマ	Opisthorchiase	о' исторхоз	無
	Fasciolase		無
	Distomatose intestinale	дистоматоз	無
	Distomatose pulmonaire		無
13.条虫症	Cestodiaceis	Tenia saginata	無 (再調査中)
		Tenia solium	無
14.結核症	tuberculosis		非常に多い

Сүрьегээр өвчлөгчдийн хувь, үхэлд хүргэх хувьд томоохон үүрэг гүйцэтгэдэг үү Нас баралтад эзлэх өвчний дараалал
 結核症は罹病率27%、死亡率の上で、大きな役割を演じている。
 罹病率順位は 1) ウイルス肝炎 2) 結核症 3) 化膿性髄膜炎 である。

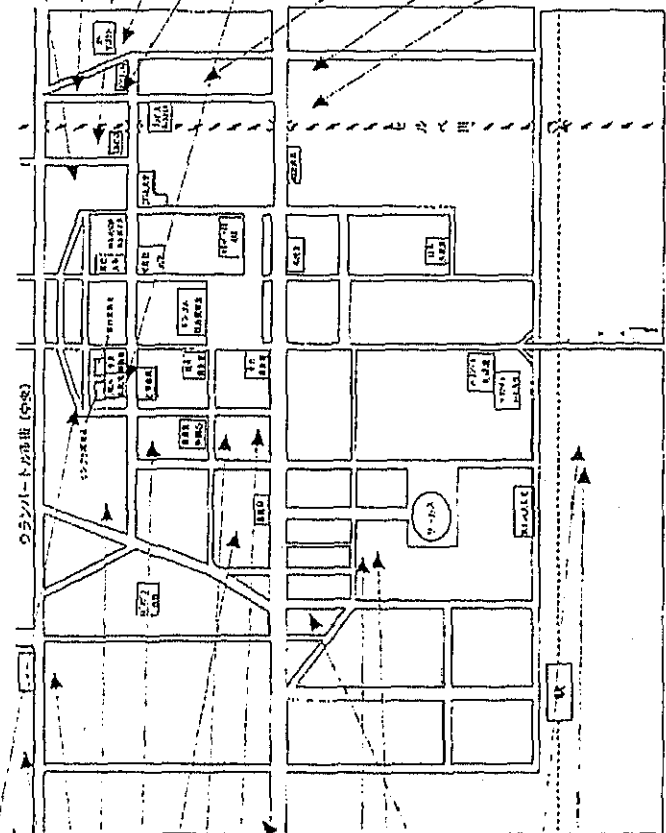
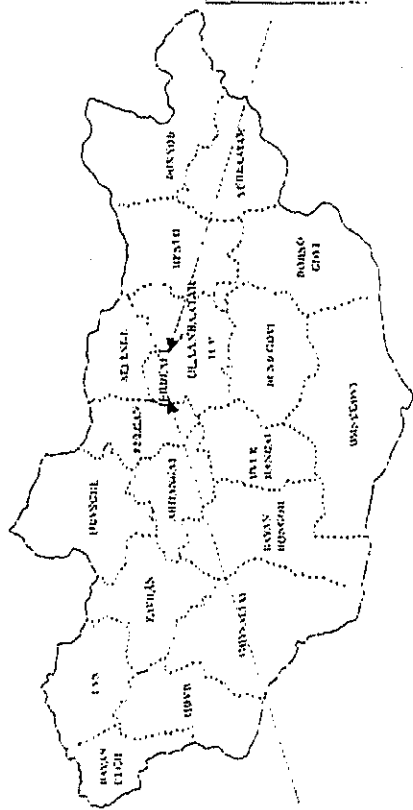
15. コレラ	Cholera	холер	
1996年にモンゴル北部の町ホウトウルで発生。174人が罹患。			
16. ペスト	Plague	Тарваган тахал	
昨年は4カ所、3名死亡。アルタイ山脈、ハンガイ山脈（ウヴルハンガイ県、アルハンガイ県）に多い。今年も4-5カ所で数名の死亡者。			
タルバガン（齧歯類）-ノミよりと推定。			
Өнгөрсөн нэг жилд тарваган тахал гарсан уу, газрын нэр			
17. スピロヘーター症	Slipoheta		無
	Franboesia		無
	Pinta	инта	無
	Syphilis endemique		無
18. レプトスピラ症	Leptospira	ле 'тос' ироз	無
(онцлог ле 'тос' ироз бий эсэх, түүний нэр)			
19. サルモネラ症	salmonellosis	сальмонеллэз	
腸チフスの邦人への危険性	Гэдэсний тиф тусах магадлал		あり得る
サルモレラ中毒の危険性	Сальмонеллэзоор өвчлөх аюул		かなり高い
卵による感染	Өндөгнөөс үүдэн сальмонеллэзоор өвчлөх магадлал		かなり高い
20. 細菌性赤痢	Shigellosis		かなり高い
21. 化膿性髄膜炎	Meningitis	менингит	
Менингитийн тархалт	epidemic, endemic, sporadic		有
байхгүй) Түүний хэлбэр		A (有), B (有)	
Бусад төрлийн менингит бий юу?			
22. リケッチア症	Rickettsiosis	риккетсиоз	無
(Нэр, газрын нэр)			
23. 性病			
Биеэ үнэлэх хавьталтаар авах өнгөний өвчин авах аюул			
	syphilis	Тэмбүү	有
	chancroid	зөөлөн яр	有
24. AIDS	ДХХШӨ		
С" ИД-ээр өвчлөгсөд бий юу? Нийтэд мэдээлсэн тоо он сар өдөр			
Бодит өвчлөгсөд нийтэд мэдээлсэнтэй харьцуулахад			
Эсрэг биеийн эерэг өвчтөнтэй холбоотой тоо бүртгэл бий			
2名公表される。推定数との相違はそう大きくないと考える。			
検査法、	Шинжилгээний арга	ELISA (有), W.B. бусад (有)	
25. 狂犬病	Rabies, Lyssa	галзуу өвчин	
発生	алзуу өвчин бий юу		有
野生動物より	ол тээгч нь зэрлэг нохой юу		有
ワクチン			有

26. アルボウイルス症	Arbovirus Dengue	арборвирусы (лихорадка) денге	無 無
27. ウイルス肝炎	Viral hepatitis	вируст ге 'атит	有
A型肝炎	A хэлбэрийн ге 'атитын аюул		かなり高い
B型肝炎	B хэлбэрийн ге 'атитын аюул		かなり高い
C型肝炎	C хэлбэрийн ге 'атитын аюул		有
A型肝炎抗体保有率	A хэлбэрийн ге 'атитын эсрэг биет тээгчтэй бүртгэлийн мэдээ байвал хавсаргах		холбоотой тоо 統計資料無
B型肝炎抗原	B хэлбэрийн ге 'атитын эсрэг биет тээгчтэй тоо бүртгэлийн мэдээбайвал хавсаргах		холбоотой 統計資料無
C型肝炎抗体	C хэлбэрийн ге 'атитын эсрэг биет тээгчтэй тоо бүртгэлийн мэдээ байвал хавсаргах		холбоотой 統計資料無
28. 眼病	нүдний өвчин		
トラコーマ	Трахом нүд эсэргэнтэх		ほとんどない
アポロ	A' оло		ほとんどない

モンゴル国OCV職員配置図

2000年11月11日現在

JICAモンゴル事務所
 派遣職員数：36名（男子17名、女子19名）
 前派遣職員数：86名（男子45名、女子41名）

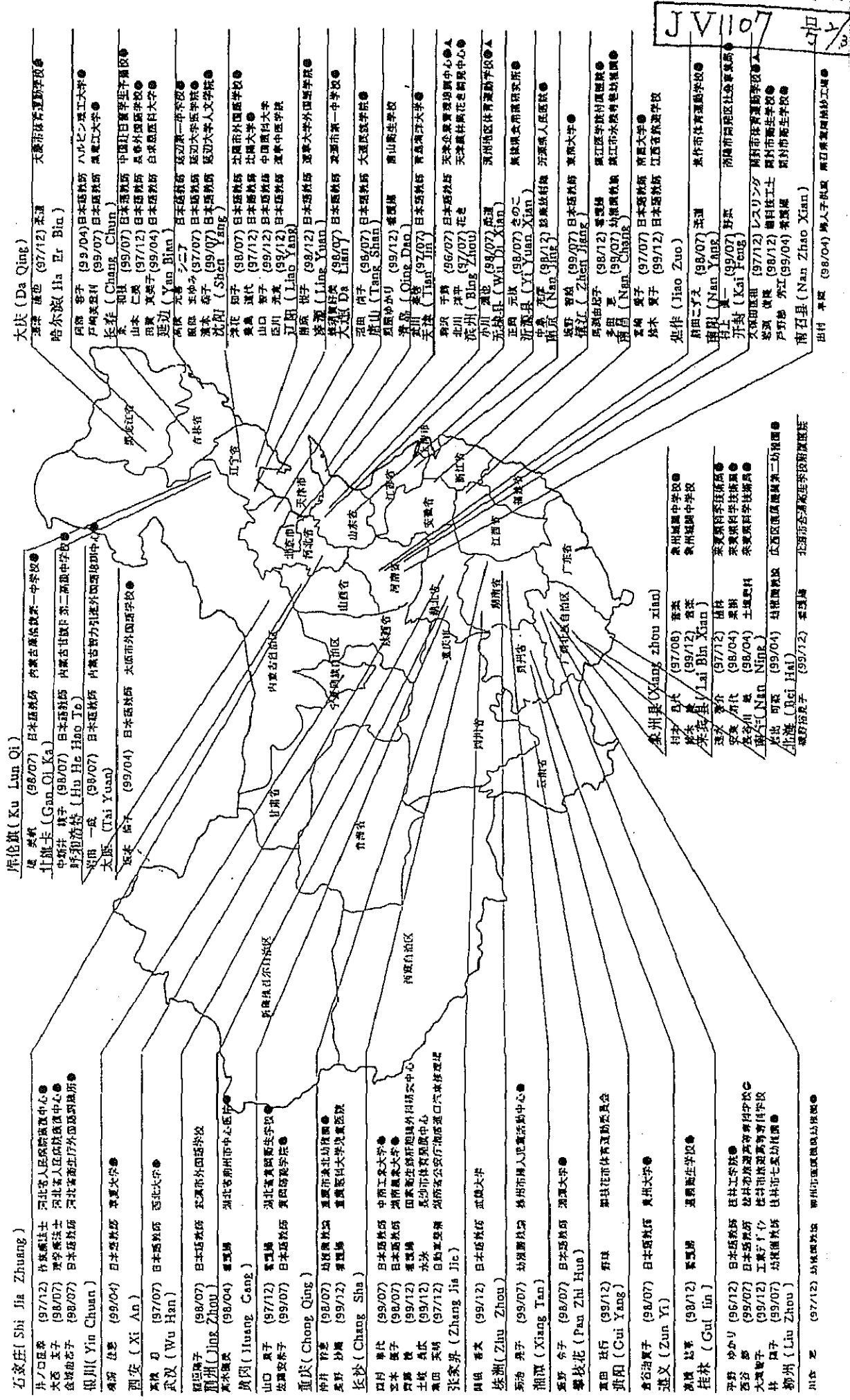


10/1	菅田 遼太郎	バトミントシ	～2000.07.16
10/1	杉田 直美	婦人学ⅡⅢ	～2000.07.16
11/1	杉田 直美	文化人類学	～2001.07.15
11/1	小泉 智恵子	建築	～2001.07.15
11/2	井 基夫	水工	～2001.12.09
10/2	長谷 千枝	幼穉心理学	～2001.12.10
10/3	中野 佳恵	肉蔵器	～2001.04.08
10/2	常盤 佳恵	建築	～2000.12.10
9/2	荒木 修	パレ-ボール	～99.12.09
10/1	藤野 綾子	幼稚園教諭	～2000.07.16
10/1	江口 久美子	日本語教師	～2000.07.16
10/2	中野 幸二	自動車整備	～2000.12.10
8/1	柴田 文男	電気機械	～99.07.12
10/3	大沢 瑞英	放送	～2000.04.08
11/2	大塚 秀樹	寄手	～2001.12.09
11/1	堀月 恵理	郵市計師	～2001.07.15
9/2	菅下 聡美	日本語教師	～99.12.09
11/2	小林 隆元	植林	～2001.12.09
10/1	山下 友子	日本語教師	～2000.07.16
9/3	香井 切人	日本語教師	～2000.04.06
10/2	高橋 生行子	体育士	～2000.12.10
10/3	黒木 梨朋	電気機器	～2000.04.08
10/3	八陣 知広	水質検査	～2000.04.08
10/3	崎浦 美樹	農業	～2000.04.08
10/3	河野 山住	臨床検査技師	～2000.04.08
11/1	中庄 美樹	日本語教師	～2001.07.15
11/1	高田 嘉恵	文庫	～2001.07.15
10/2	中柳 静枝	日本語教師	～2000.12.10
10/2	須藤 理代	看護師	～2000.12.10
11/1	近藤 智朗	電気機器	～2001.07.15
10/1	柳野 綾子	日本語教師	～2000.07.16
10/3	村上 崇	造林検査	～2001.04.08
11/2	久良木 高徳	織機工学	～2001.12.09
11/2	森本 尚理	柔道	～2001.12.09
10/2	西山 登	電話交換機	～2000.12.10
11/1	関 博文	体育療法	～2001.07.15

在中国青年海外協力隊配置圖

國際協力事業團 中華人民共和國 事務所
 1999年12月23日現在 一般隊員 71名 (男子17名 女子54名)
 (派遣中) シニア隊員 1名 (男子1名)

●全編者均屬採用
 ▲3名供市電選採用



石家庄 (Shi Jia Zhuang)
 井口亞泰 (97/12) 竹旗廣法士 河北省人民醫院救護中心
 大西 美子 (98/07) 理學療法士 河北省人民醫院救護中心
 金城船志子 (98/07) 日本語教師 河北省衛生厅外國語研修所
 根川 (Yin Chuan)
 張清 佳惠 (99/04) 日本語教師 華夏大學
 西安 (Xi An)
 齊慎 丹 (97/07) 日本語教師 西北大學
 武双 (Wu Han)
 鄭世陽子 (98/07) 日本語教師 武漢市外國語學校
 高木廣民 (98/04) 看護師 湖北省南州市中心醫院
 黃四 (Huang Gang)
 山口 泉子 (97/12) 看護師 湖北省黃岡衛生學校
 松原 美津子 (99/07) 日本語教師 黃岡衛生學校
 重慶 (Chong Qing)
 南井 祥惠 (98/07) 幼科保健師 重慶市東北坊醫院
 吳野 妙麗 (99/12) 看護師 重慶醫科大學附屬醫院
 長沙 (Chang Sha)
 山口 幸代 (98/07) 日本語教師 中南工業大學
 齊藤 優子 (98/07) 日本語教師 湖南農業大學
 阿部 美津子 (98/12) 看護師 國家衛生部駐湖南外國語中心
 土岐 典次 (98/12) 水泳 長沙市體育展覽中心
 東田 美晴 (97/12) 自動車整備 湖南省公安厅交通管理處
 張家昇 (Zhang Jia Jie)
 叫田 香美 (99/12) 日本語教師 武漢大學
 株洲 (Zhu Zhou)
 菊池 勇子 (98/07) 幼科保健師 株州市婦人兒童活動中心
 湘潭 (Xiang Tan)
 高野 今子 (98/07) 日本語教師 湘潭大學
 響枝花 (Pan Zhi Hua)
 東田 洋行 (99/12) 看護師 株州市體育活動委員會
 貴陽 (Gui Yang)
 有古浩美子 (98/07) 日本語教師 貴州大學
 遵义 (Zun Yi)
 高橋 結草 (98/12) 看護師 遵義衛生學校
 桂林 (Gui Lin)
 平野 妙かり (96/12) 日本語教師 桂林工業大學
 西谷 敏子 (99/07) 日本語教師 桂林旅遊高等专科学校
 大瀧 敏子 (99/12) 工業士 桂林市體育活動委員會
 林 陽子 (99/07) 幼科保健師 桂林市七星公園
 柳州 (Liu Zhou)
 川谷 芝 (97/12) 幼科保健師 柳州市第五幼托院

庫倫旗 (Ku Lun Qi)
 趙 英帆 (98/07) 日本語教師 內蒙古高級技術師一中等學校
 北川圭 (Kan Oi Ka)
 中坊井 康子 (98/07) 日本語教師 內蒙古自治區第二師團中學校
 野和流持 (Hu He Hoo Jo)
 岩田 一成 (98/07) 日本語教師 內蒙古自治區外國語研修中心
 太阪 (Tai Yuan)
 阪本 尚子 (99/04) 日本語教師 太阪市外國語學校

大庄 (Da Qing)
 荒津 康也 (97/12) 看護師 天津清華體育運動學校
 哈爾濱 Ha Er Bin
 岡部 孝子 (99/04) 日本語教師 ハルビン理工大學
 戸崎美登川 (99/07) 日本語教師 黑龍江大學
 長春 (Chang Chun)
 山本 和雄 (99/07) 日本語教師 中國紅日體育學院
 山本 仁美 (97/12) 日本語教師 長春外國語學校
 田島 美美子 (99/04) 日本語教師 白龍潭醫科大學
 延辺 (Yan Bian)
 高橋 光孝 シニア 日本語教師 延辺第一師範學校
 張本 美津子 (97/07) 日本語教師 延辺大學醫學部
 渡米 孝子 (99/07) 日本語教師 延辺大學醫學部
 沈陽 (Shen Yang)
 花田 陽子 (98/07) 日本語教師 沈陽市外國語學校
 秦島 道代 (97/12) 日本語教師 沈陽大學
 山口 繁子 (99/12) 日本語教師 中國醫科大學
 田川 美英 (98/12) 日本語教師 遼寧中醫學院
 江田 (Liao Yang)
 南原 敏子 (98/12) 日本語教師 遼寧大學外國語學院
 凌源 (Ling Yuan)
 大瀧 道子 (98/07) 日本語教師 遼寧市第一中學校
 唐田 尚子 (98/07) 日本語教師 大連高級學校
 唐山 (Tang Shan)
 唐島 妙かり (99/12) 看護師 唐山衛生學校
 齊島 (Qing Dan)
 齊川 美香 (97/07) 日本語教師 青島海濱大學
 天津 (Tian Jin)
 野沢 千壽 (96/07) 日本語教師 天津企業管理學院中心
 北川 洋平 (97/07) 看護師 天津農村衛生學院中心
 杭州 (Hang Zhou)
 小川 清也 (98/07) 看護師 湖州地區體育運動學校
 余姚 (Yao Yang)
 正岡 元秋 (98/07) シニア 無錫職業技術學院
 近藤 (Yi Yuan Xian)
 中島 美津子 (98/12) 幼科保健師 沂源縣人氏醫院
 南京 (Nan Jing)
 坂野 智樹 (99/07) 日本語教師 東南大學
 珠江 (Zhu Jiang)
 原田由起子 (98/12) 看護師 珠江醫學技術學院
 多田 美 (99/07) 幼科保健師 廣州市水務科學技術學院
 南陽 (Nan Yang)
 岡部 孝子 (97/07) 日本語教師 南陽大學
 柴木 賢子 (99/12) 日本語教師 江西省旅遊學校
 柴作 (Chao Zuo)
 柳田こづえ (98/07) 看護師 柴作市體育運動學校
 南陽 (Nan Yang)
 井上 真一 (99/07) 幼科保健師 南陽市社區社會事業局
 開封 (Kai Feng)
 久保田直樹 (97/12) レスリング 南陽市體育運動學校
 鄭州 (Zheng Zhou)
 鄭野 康良 (98/12) 機械工士 鄭州市衛生學校
 鄭野 亦江 (99/04) 看護師 鄭州市衛生學校
 南石里 (Nan Zhao Xian)
 田村 幸雄 (98/04) 婦人子科 鄭州廣西醫學院

泉州 (Xiang Zhou xian)
 村本 昌代 (97/08) 看護師 泉州衛生學校
 藤本 康夫 (99/12) 看護師 泉州醫科大學
 柴我里 (Lai Bin Xian)
 逸水 善介 (97/12) 機械 泉州科學技術學院
 安美/有代 (98/04) 看護師 泉州科學技術學院
 森山 敏 (98/04) 看護師 泉州科學技術學院
 藤本 (Nan Ning)
 若松 可歌 (99/04) 幼科保健師 廈門區價值觀教育第二幼托院
 北庭 (Bei Hai)
 堀野裕子 (99/12) 看護師 北庭市海峽兩岸交流服務中心

JV1107

12151

